

18歳人口予測 大学・短大・専門学校進学率 地元残留率の動向

【将来予測 2015～2026年】

▶18歳人口予測 P3～P8

- ・2015年119万人→2026年108.3万人(10.7万人減少)
- ・特に2019～2023年の5年間で10.5万人と大きく減少
- ・減少率が高いのは東北(2015年比81.5%)、減少数が大きいのは近畿(21625人減)

【経過推移 2005～2014年 (地元残留率は2006～2015年)】

▶進学率(現役・過年度)の推移 P9～P13

大学進学率(現役)

- ・2005年39.3%→2014年48.1%(8.8ポイント上昇)
- ・上昇率が高いのは、1位東北(126.8)、2位南関東(126.3)、3位甲信越(122.9)※
- ・進学率が高いのは南関東、近畿、東海の三大都市圏

短大進学率(現役)

- ・2005年7.5%→2014年5.1%(2.4ポイント低下)
- ・低下率が高いのは、1位南関東(62.4)、2位近畿(64.1)、3位北関東(64.7)※
- ・進学率が高いのは、北陸、甲信越、近畿、四国

専門学校進学率(現役)

- ・2005年19.0%→2014年17.0%(2.0ポイント低下)
- ・ただし最も低下したのは2009年14.7%で、そこから徐々に回復
- ・低下率が高いのは、1位南関東・東海(87.1)、3位東北(88.6)※
- ・進学率が高いのは、北海道、甲信越、四国

都道府県別進学率(現役・2014年)

- ・大学進学率1位は東京、短大進学率1位は長野、専門学校進学率1位は新潟

大学・短大・専門学校進学率(現役・過年度比較)

- ・現役と過年度の進学率の差は、大学は3.4ポイント(過年度が高い)、短大は差なし、専門学校は5.4ポイント(過年度が高い)

▶地元残留率の推移 P14～P24

- ・大学進学者の地元残留率は、2006年41.8%→2015年43.6%(1.8ポイント上昇)
- ・短大進学者の地元残留率は、2006年64.4%→2015年69.0%(4.6ポイント上昇)
- ・2015年の大学残留率1位は愛知(72.0%)、短大残留率1位は福岡(92.1%)

注) ※の()内の数値は、2005年を100としたときの2014年の指数

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ リクルート進学総研
<http://souken.shingakunet.com/>

データについて

■分析にあたって

- ① 18歳人口概算は、文部科学省学校基本調査より、以下の通り定義して算出した。
 - ・ 18歳人口＝3年前の中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数
 - ・ 中学校卒業者数＝高校生＋フリーター＋就職者　すべて含む
- ② 表内の「年度」に属する18歳とは、その年の4月現在の高校3年生(その年度に卒業を迎える高校3年生)を指す。
- ③ 表内の「割合」とは、グラフ開始年度の値を100とおいた際の増減を示す。
- ④ 進学率とは、進学者数(大学・短大・専修学校専門課程)÷高等学校卒業者数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)で算出した。
- ⑤ 残留率とは、自県内の進学者数(大学・短大)÷高等学校卒業者数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)で算出した。
- ⑥ 図表で利用している百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、四捨五入の結果、数値の和が100.0にならない場合がある。
- ⑦ 各分析の該当期間については、速報段階では数値が公表されないものもあるため、分析によっては期間が一致しない場合がある。
- ⑧ エリア別分析における各エリアに含まれる都道府県については以下の通り。

北海道：北海道

東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

北関東：茨城、栃木、群馬

南関東：埼玉、千葉、東京、神奈川

甲信越：新潟、山梨、長野

北陸：富山、石川、福井

東海：岐阜、静岡、愛知、三重

近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口

四国：徳島、香川、愛媛、高知

九州沖縄：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

<年度早見表>

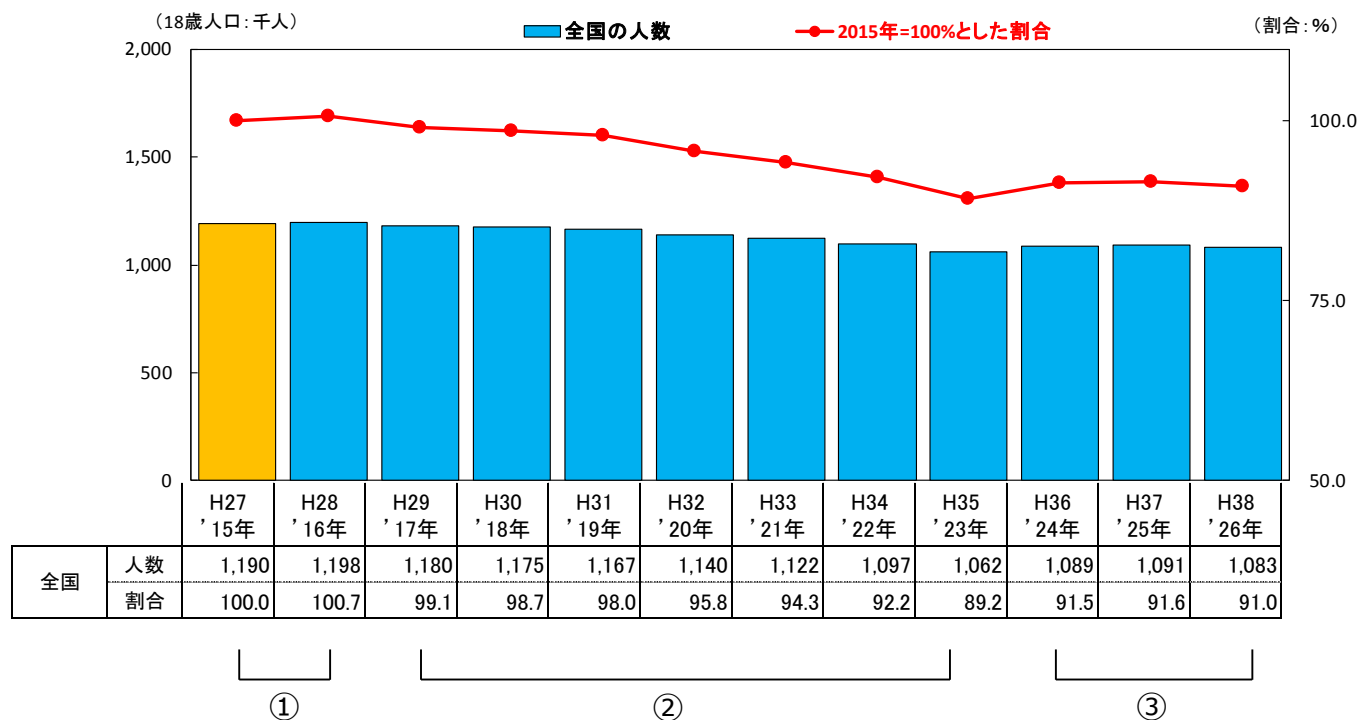
学校基本調査		公表 年度	18歳人口	3年前の中学・中等教育卒業者
確報	公表	23	1,201,934	H20年(2008年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	24	1,191,210	H21年(2009年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	25	1,231,117	H22年(2010年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	26	1,180,838	H23年(2011年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	27	1,199,977	H24年(2012年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
確報	予測	28	1,190,262	H25年(2013年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
確報	予測	29	1,198,290	H26年(2014年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
速報	予測	30	1,179,810	H27年(2015年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者(全国計のみ)
速報	予測	31	1,175,152	H27年(2015年) の中学校3年生+中等教育学校前期課程3年生の児童数
速報	予測	32	1,166,874	H27年(2015年) の中学校2年生+中等教育学校前期課程2年生の児童数
速報	予測	33	1,139,843	H27年(2015年) の中学校1年生+中等教育学校前期課程1年生の児童数
速報	予測	34	1,122,017	H27年(2015年) の小学校6年生児童数
速報	予測	35	1,097,275	H27年(2015年) の小学校5年生児童数
速報	予測	36	1,061,776	H27年(2015年) の小学校4年生児童数
速報	予測	37	1,088,705	H27年(2015年) の小学校3年生児童数
速報	予測	38	1,090,569	H27年(2015年) の小学校2年生児童数
速報	予測	39	1,082,772	H27年(2015年) の小学校1年生児童数

18歳人口予測(全体：全国：2015～2026年)

■ 2015年119万人→2026年108.3万人(10.7万人減少)

・ 全国の18歳人口は、以下の3段階を経て経年的に減少する。

- ① 2015～2016年：119万人から119.8万人と微増。
- ② 2017～2023年：7年間かけて減少(118万人→106.2万人、11.8万人減少)。
特に2019～2023年の5年間で10.5万人と大きく減少する。
- ③ 2024～2026年：2024年に108.9万人(昨年比2.7万人増)とやや増加に転じるが、
2026年で再び減少し、108.3万人となる。



18歳人口予測(男女別：全国：2015～2025年)

■男女ともに11年間かけて約10%の減少

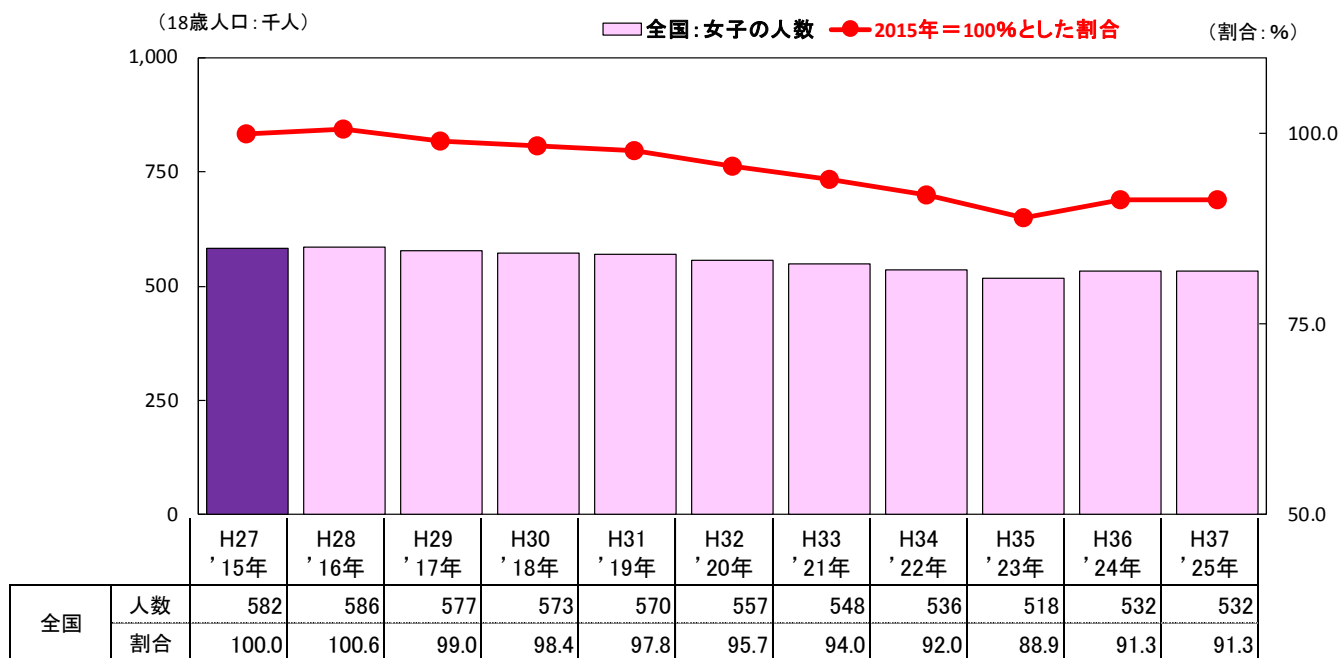
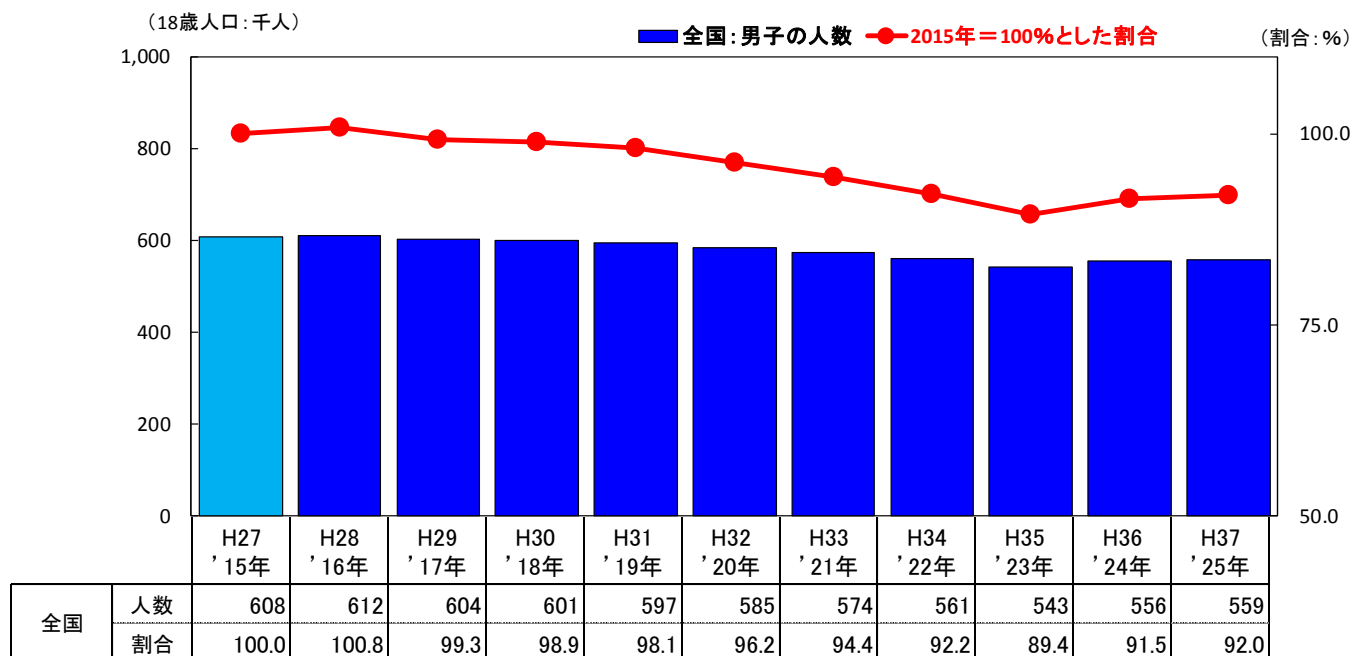
減少のスピード・時期は男女差がほとんどない。

男子

- ・2015年60.8万人から2025年55.9万人と、11年間で4.9万人減少。
- ・全体傾向と同様に2023年が11年間で最も少ない54.3万人となり、その後1.6万人増加する。

女子

- ・2015年58.2万人から2025年53.2万人と、11年間で5.0万人減少。
- ・男子同様に2023年が51.8万人で最も少なくなり、その後1.4万人増加する。

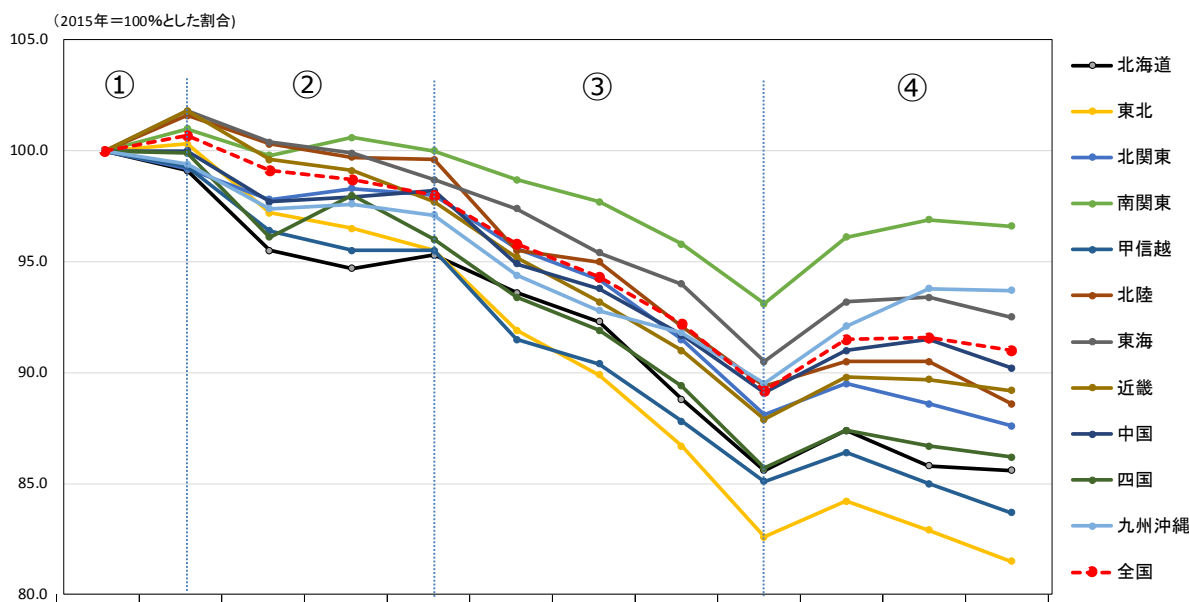


18歳人口予測(全体：エリア別：2015～2026年)

■減少率が高いのは東北(2015年比81.5%)、減少数が多いのは近畿(21625人減)

- ・減少率が高いのは、1位東北(2015年比81.5%)、2位甲信越(83.7%)、3位北海道(85.6%)。
- ・減少数が多いのは、1位近畿(21625人減)、2位東北(16192人減)、3位東海(11086人減)。
- ・減少率が低いのは、1位南関東(96.6%)、2位九州沖縄(93.7%)、3位東海(92.5%)。
- ・エリア別の18歳人口は、以下の4段階を経て減少する。

- ① 2015～2016年：全国では約0.8万人増加するが、エリアごとに増減が異なる時期
 - ② 2016～2019年：全国では約3.1万人減少するが、エリアごとに増減が異なる時期
 - ③ 2019～2023年：全国で約10.5万人減少し、全エリアで減少する時期
 - ④ 2023～2026年：全国で最低となる2023年の水準から回復またはさらに減少する時期
- 2023年より2026年の人口が増加するのは、南関東、東海、近畿、中国、四国、九州沖縄。
北海道、東北、北関東、甲信越、北陸はさらなる減少に転じる見込み。

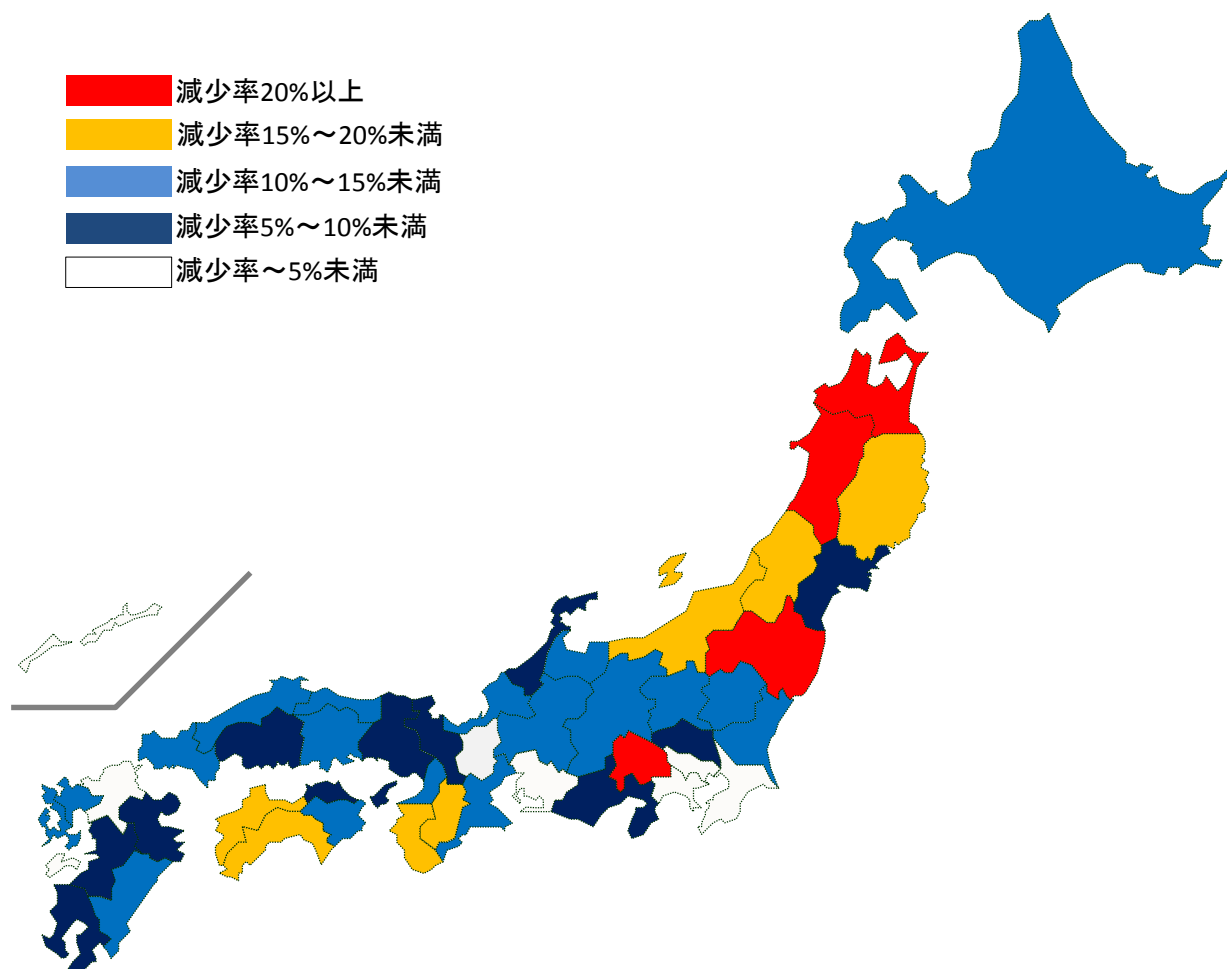


		H27 '15年	H28 '16年	H29 '17年	H30 '18年	H31 '19年	H32 '20年	H33 '21年	H34 '22年	H35 '23年	H36 '24年	H37 '25年	H38 '26年
全国	人数	1,190,262	1,198,290	1,179,810	1,175,152	1,166,874	1,139,843	1,122,017	1,097,275	1,061,776	1,088,705	1,090,569	1,082,772
	割合	100.0	100.7	99.1	98.7	98.0	95.8	94.3	92.2	89.2	91.5	91.6	91.0
北海道	人数	48,043	47,624	45,886	45,507	45,774	44,978	44,345	42,656	41,136	41,987	41,235	41,123
	割合	100.0	99.1	95.5	94.7	95.3	93.6	92.3	88.8	85.6	87.4	85.8	85.6
東北	人数	87,458	87,747	85,033	84,389	83,555	80,372	78,611	75,802	72,272	73,615	72,468	71,266
	割合	100.0	100.3	97.2	96.5	95.5	91.9	89.9	86.7	82.6	84.2	82.9	81.5
北関東	人数	67,623	67,111	66,121	66,468	66,302	64,655	63,692	61,851	59,574	60,503	59,939	59,215
	割合	100.0	99.2	97.8	98.3	98.0	95.6	94.2	91.5	88.1	89.5	88.6	87.6
南関東	人数	304,670	307,864	303,971	306,513	304,696	300,684	297,634	291,833	283,771	292,890	295,377	294,451
	割合	100.0	101.0	99.8	100.6	100.0	98.7	97.7	95.8	93.1	96.1	96.9	96.6
甲信越	人数	52,249	51,874	50,365	49,915	49,902	47,818	47,242	45,895	44,447	45,137	44,418	43,731
	割合	100.0	99.3	96.4	95.5	95.5	91.5	90.4	87.8	85.1	86.4	85.0	83.7
北陸	人数	29,136	29,612	29,216	29,045	29,006	27,813	27,680	26,834	26,062	26,372	26,358	25,826
	割合	100.0	101.6	100.3	99.7	99.6	95.5	95.0	92.1	89.4	90.5	90.5	88.6
東海	人数	147,082	149,716	147,601	146,969	145,234	143,305	140,294	138,271	133,109	137,059	137,381	135,996
	割合	100.0	101.8	100.4	99.9	98.7	97.4	95.4	94.0	90.5	93.2	93.4	92.5
近畿	人数	199,955	203,611	199,191	198,082	195,323	190,438	186,307	181,890	175,729	179,653	179,339	178,330
	割合	100.0	101.8	99.6	99.1	97.7	95.2	93.2	91.0	87.9	89.8	89.7	89.2
中国	人数	71,522	71,528	69,867	70,013	70,236	67,908	67,117	65,583	63,712	65,115	65,435	64,540
	割合	100.0	100.0	97.7	97.9	98.2	94.9	93.8	91.7	89.1	91.0	91.5	90.2
四国	人数	37,069	37,023	35,634	36,329	35,603	34,626	34,051	33,147	31,779	32,399	32,124	31,962
	割合	100.0	99.9	96.1	98.0	96.0	93.4	91.9	89.4	85.7	87.4	86.7	86.2
九州沖縄	人数	145,455	144,580	141,646	141,922	141,243	137,246	135,044	133,513	130,185	133,975	136,495	136,332
	割合	100.0	99.4	97.4	97.6	97.1	94.4	92.8	91.8	89.5	92.1	93.8	93.7

18歳人口の減少率予測(全体：都道府県別:2015→2026年)

■ 東北の減少率が高く、6県中5県で減少率15%以上

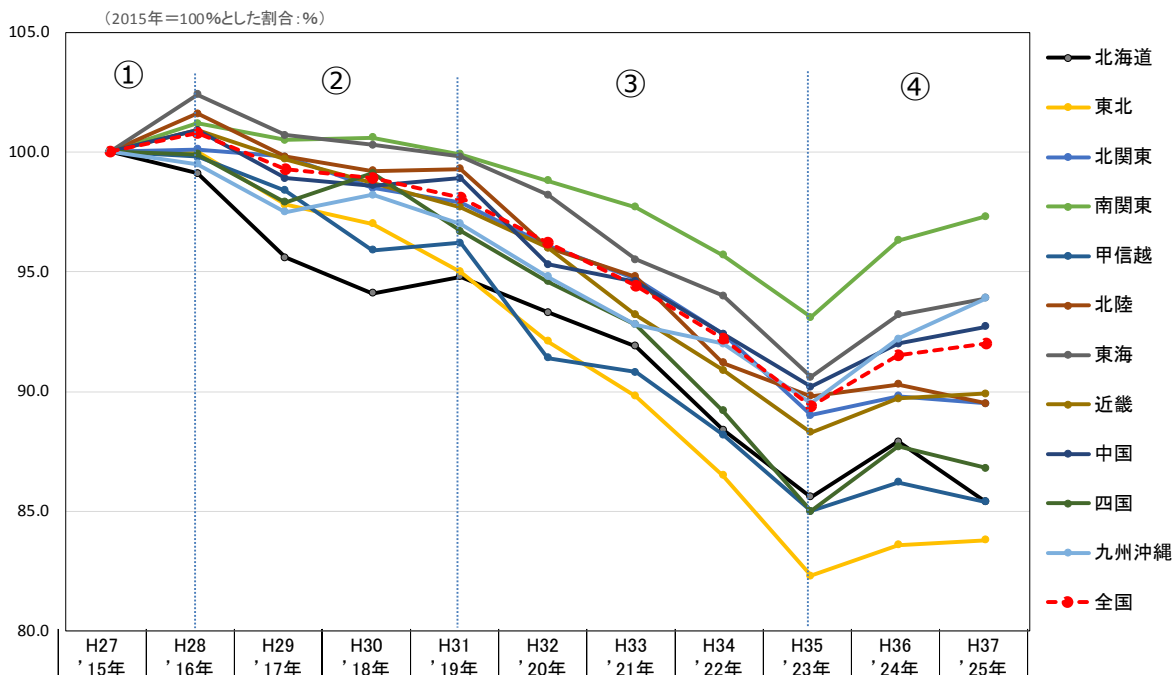
- ・ 減少率20%以上の県は、青森(25.5%)、秋田(23.9%)、福島(22.4%)、山梨(21.0%)。
- ・ 減少率15～20%未満の県は、岩手(18.1%)、山形(17.6%)、新潟(17.1%)、奈良(18.3%)、和歌山(19.5%)、愛媛(16.5%)、高知(15.0%)。
- ・ 減少率10～15%未満の道府県は、北海道(14.4%)、茨城(13.9%)、栃木(10.4%)、群馬(12.1%)、長野(13.6%)、富山(14.7%)、福井(10.6%)、岐阜(11.4%)、三重(11.5%)、大阪(11.5%)、鳥取(12.4%)、島根(12.8%)、岡山(11.1%)、山口(12.6%)、徳島(14.9%)、佐賀(13.1%)、長崎(14.9%)、宮崎(11.5%)。
- ・ 減少率5～10%未満の府県は、宮城(9.2%)、埼玉(5.9%)、石川(8.8%)、静岡(8.8%)、京都(9.1%)、兵庫(9.1%)、広島(6.2%)、香川(8.1%)、熊本(7.6%)、大分(8.5%)、鹿児島(8.2%)。
- ・ 減少率5%未満の都県は、千葉(3.5%)、東京(2.9%)、神奈川(1.8%)、愛知(4.9%)、滋賀(3.0%)、福岡(2.6%)、沖縄(-2.8%)。
- ・ 沖縄は全都道府県で唯一人口が増加する見込み。



18歳人口予測(男子：エリア別：2015～2025年)

■男子が最も減少するのは東北(率)、近畿(数)

- ・減少率が高いのは、1位東北(2015年比83.8%)、2位北海道・甲信越(85.4%)。
- ・減少数が大きいのは、1位近畿(10296人減)、2位東北(7270人減)、3位東海(4616人減)。
- ・減少率が低いのは、1位南関東(97.3%)、2位東海・九州沖縄(93.9%)。
- ・④期において2023年より2026年の男子人口が増加するのは、北海道(63人減)、北陸(56人減)。他エリアは増加に転じる。

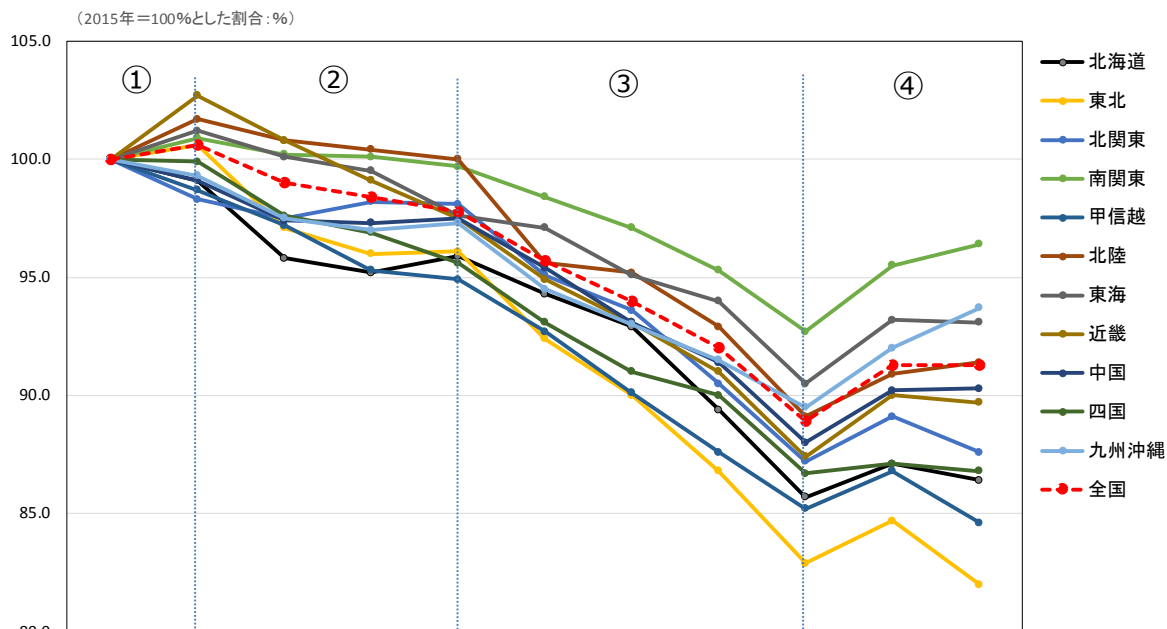


		H27 '15年	H28 '16年	H29 '17年	H30 '18年	H31 '19年	H32 '20年	H33 '21年	H34 '22年	H35 '23年	H36 '24年	H37 '25年
全国	人数	607,839	612,441	603,618	601,022	596,557	584,513	573,669	560,628	543,141	556,453	559,067
	割合	100.0	100.8	99.3	98.9	98.1	96.2	94.4	92.2	89.4	91.5	92.0
北海道	人数	24,539	24,320	23,470	23,101	23,261	22,901	22,553	21,682	21,017	21,564	20,954
	割合	100.0	99.1	95.6	94.1	94.8	93.3	91.9	88.4	85.6	87.9	85.4
東北	人数	44,740	44,758	43,771	43,412	42,521	41,213	40,170	38,709	36,843	37,395	37,470
	割合	100.0	100.0	97.8	97.0	95.0	92.1	89.8	86.5	82.3	83.6	83.8
北関東	人数	34,386	34,427	34,331	33,863	33,662	33,049	32,571	31,782	30,600	30,873	30,769
	割合	100.0	100.1	99.8	98.5	97.9	96.1	94.7	92.4	89.0	89.8	89.5
南関東	人数	155,487	157,399	156,313	156,347	155,286	153,555	151,937	148,854	144,739	149,790	151,214
	割合	100.0	101.2	100.5	100.6	99.9	98.8	97.7	95.7	93.1	96.3	97.3
甲信越	人数	26,738	26,690	26,309	25,635	25,715	24,446	24,276	23,584	22,722	23,043	22,847
	割合	100.0	99.8	98.4	95.9	96.2	91.4	90.8	88.2	85.0	86.2	85.4
北陸	人数	14,941	15,178	14,908	14,816	14,831	14,350	14,171	13,630	13,421	13,492	13,365
	割合	100.0	101.6	99.8	99.2	99.3	96.0	94.8	91.2	89.8	90.3	89.5
東海	人数	75,090	76,865	75,626	75,295	74,955	73,760	71,747	70,571	68,025	69,967	70,474
	割合	100.0	102.4	100.7	100.3	99.8	98.2	95.5	94.0	90.6	93.2	93.9
近畿	人数	102,268	103,238	101,926	100,898	99,953	98,204	95,289	92,921	90,337	91,691	91,972
	割合	100.0	100.9	99.7	98.7	97.7	96.0	93.2	90.9	88.3	89.7	89.9
中国	人数	36,369	36,682	35,960	35,858	35,962	34,665	34,418	33,610	32,793	33,462	33,717
	割合	100.0	100.9	98.9	98.6	98.9	95.3	94.6	92.4	90.2	92.0	92.7
四国	人数	18,885	18,865	18,496	18,719	18,266	17,867	17,523	16,853	16,046	16,564	16,393
	割合	100.0	99.9	97.9	99.1	96.7	94.6	92.8	89.2	85.0	87.7	86.8
九州沖縄	人数	74,396	74,019	72,508	73,078	72,145	70,503	69,014	68,432	66,598	68,612	69,892
	割合	100.0	99.5	97.5	98.2	97.0	94.8	92.8	92.0	89.5	92.2	93.9

18歳人口予測(女子：エリア別：2015～2025年)

■女子が最も減少するのも東北(率)、近畿(数)

- ・減少率が高いのは、1位東北(2015年比82.0%)、2位甲信越(84.6%)、3位北海道(86.4%)。
- ・減少数が大きいのは、1位近畿(10076人減)、2位東北(7679人減)、3位南関東(5392人減)。
- ・減少率が低いのは、1位南関東(96.4%)、2位九州沖縄(93.7%)、3位東海(93.1%)。
- ・④期において2023年より2026年の女子人口が増加するのは、東北(372人減)、甲信越(172人減)他エリアは増加に転じる。



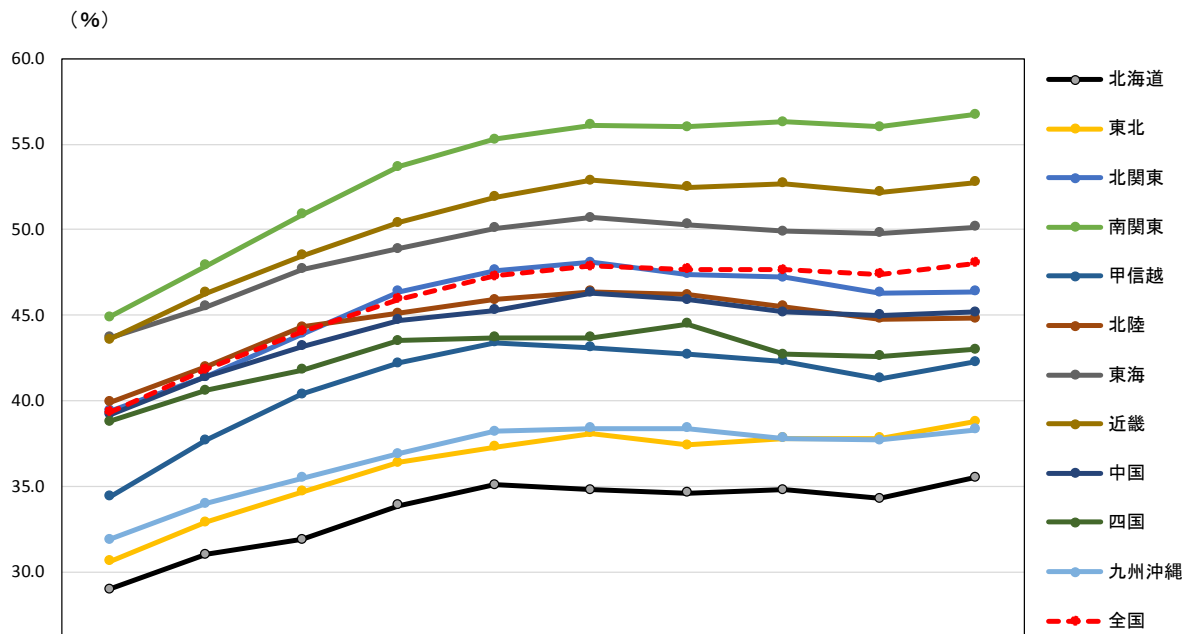
		H27 '15年	H28 '16年	H29 '17年	H30 '18年	H31 '19年	H32 '20年	H33 '21年	H34 '22年	H35 '23年	H36 '24年	H37 '25年
全国	人数	582,423	585,849	576,786	573,147	569,600	557,468	547,637	536,052	517,989	531,813	531,576
	割合	100.0	100.6	99.0	98.4	97.8	95.7	94.0	92.0	88.9	91.3	91.3
北海道	人数	23,504	23,304	22,507	22,376	22,546	22,160	21,836	21,010	20,139	20,471	20,314
	割合	100.0	99.1	95.8	95.2	95.9	94.3	92.9	89.4	85.7	87.1	86.4
東北	人数	42,718	42,989	41,480	40,996	41,062	39,471	38,467	37,099	35,411	36,189	35,039
	割合	100.0	100.6	97.1	96.0	96.1	92.4	90.0	86.8	82.9	84.7	82.0
北関東	人数	33,237	32,684	32,410	32,638	32,604	31,610	31,123	30,083	28,969	29,629	29,110
	割合	100.0	98.3	97.5	98.2	98.1	95.1	93.6	90.5	87.2	89.1	87.6
南関東	人数	149,183	150,465	149,508	149,403	148,663	146,836	144,879	142,210	138,225	142,532	143,791
	割合	100.0	100.9	100.2	100.1	99.7	98.4	97.1	95.3	92.7	95.5	96.4
甲信越	人数	25,511	25,184	24,788	24,303	24,218	23,641	22,990	22,354	21,748	22,145	21,576
	割合	100.0	98.7	97.2	95.3	94.9	92.7	90.1	87.6	85.2	86.8	84.6
北陸	人数	14,195	14,434	14,309	14,249	14,197	13,565	13,519	13,185	12,641	12,899	12,976
	割合	100.0	101.7	100.8	100.4	100.0	95.6	95.2	92.9	89.1	90.9	91.4
東海	人数	71,992	72,851	72,067	71,649	70,272	69,871	68,488	67,654	65,180	67,109	67,051
	割合	100.0	101.2	100.1	99.5	97.6	97.1	95.1	94.0	90.5	93.2	93.1
近畿	人数	97,687	100,373	98,470	96,817	95,259	92,731	90,981	88,937	85,350	87,932	87,611
	割合	100.0	102.7	100.8	99.1	97.5	94.9	93.1	91.0	87.4	90.0	89.7
中国	人数	35,153	34,846	34,224	34,193	34,274	33,531	32,711	32,121	30,944	31,707	31,746
	割合	100.0	99.1	97.4	97.3	97.5	95.4	93.1	91.4	88.0	90.2	90.3
四国	人数	18,184	18,158	17,743	17,627	17,390	16,925	16,554	16,360	15,758	15,834	15,786
	割合	100.0	99.9	97.6	96.9	95.6	93.1	91.0	90.0	86.7	87.1	86.8
九州沖縄	人数	71,059	70,561	69,280	68,896	69,115	67,127	66,089	65,039	63,624	65,366	66,576
	割合	100.0	99.3	97.5	97.0	97.3	94.5	93.0	91.5	89.5	92.0	93.7

大学進学率の推移(現役：エリア別：2005～2014年)

■ 2005年39.3%→2014年48.1%(8.8ポイント上昇)

- ・ 全国で2005年39.3%→2014年48.1%と、10年間で8.8ポイント上昇。上昇率が高いのは2005～2009年の5年間(39.3%→47.3%)であり、以降5年間は横ばい～微増のトレンド。
- ・ 上昇率が高いのは、1位東北(126.8)、2位南関東(126.3)、3位甲信越(122.9)。※
- ・ 上昇率が低いのは、1位四国(110.9)、2位北陸(112.3)、3位東海(114.8)。※
- ・ 進学率が高いのは、1位南関東(2014年56.7%)、2位近畿(52.8%)、3位東海(50.1%)。

注) ※の()内の数値は、2005年を100としたときの2014年の指数



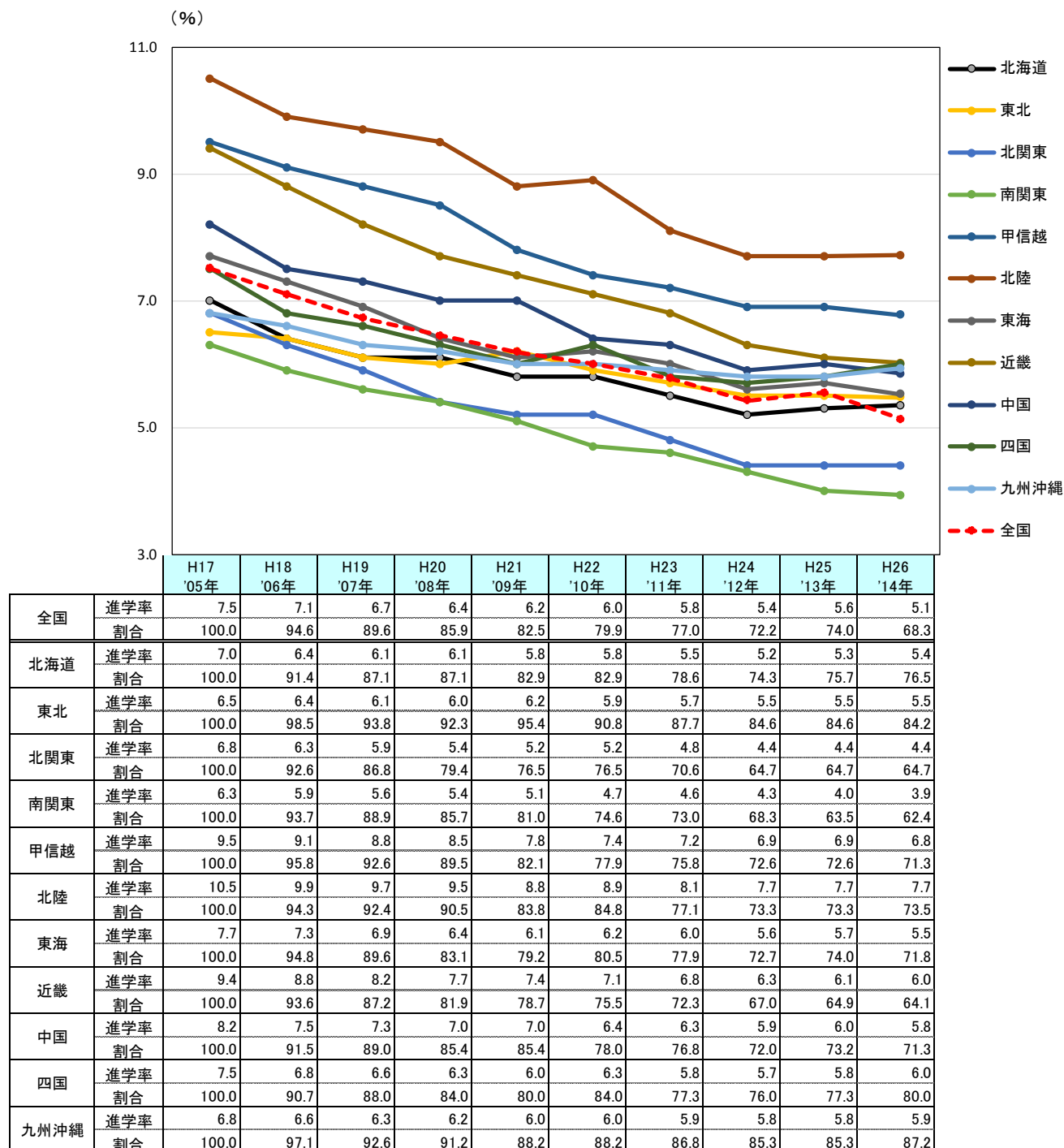
		H17 '05年	H18 '06年	H19 '07年	H20 '08年	H21 '09年	H22 '10年	H23 '11年	H24 '12年	H25 '13年	H26 '14年
全国	進学率	39.3	41.8	44.1	46.0	47.3	47.9	47.7	47.7	47.4	48.1
	割合	100.0	106.3	112.0	116.9	120.2	121.7	121.3	121.2	120.5	122.2
北海道	進学率	29.0	31.0	31.9	33.9	35.1	34.8	34.6	34.8	34.3	35.5
	割合	100.0	106.9	110.0	116.9	121.0	120.0	119.3	120.0	118.3	122.5
東北	進学率	30.6	32.9	34.7	36.4	37.3	38.1	37.4	37.8	37.8	38.8
	割合	100.0	107.5	113.4	119.0	121.9	124.5	122.2	123.5	123.5	126.8
北関東	進学率	39.4	41.4	43.9	46.4	47.6	48.1	47.4	47.2	46.3	46.4
	割合	100.0	105.1	111.4	117.8	120.8	122.1	120.3	119.8	117.5	117.7
南関東	進学率	44.9	47.9	50.9	53.7	55.3	56.1	56.0	56.3	56.0	56.7
	割合	100.0	106.7	113.4	119.6	123.2	124.9	124.7	125.4	124.7	126.3
甲信越	進学率	34.4	37.7	40.4	42.2	43.4	43.1	42.7	42.3	41.3	42.3
	割合	100.0	109.6	117.4	122.7	126.2	125.3	124.1	123.0	120.1	122.9
北陸	進学率	39.9	42.0	44.3	45.1	45.9	46.4	46.2	45.5	44.8	44.8
	割合	100.0	105.3	111.0	113.0	115.0	116.3	115.8	114.0	112.3	112.3
東海	進学率	43.7	45.5	47.7	48.9	50.1	50.7	50.3	49.9	49.8	50.1
	割合	100.0	104.1	109.2	111.9	114.6	116.0	115.1	114.2	114.0	114.8
近畿	進学率	43.6	46.3	48.5	50.4	51.9	52.9	52.5	52.7	52.2	52.8
	割合	100.0	106.2	111.2	115.6	119.0	121.3	120.4	120.9	119.7	121.1
中国	進学率	39.2	41.4	43.2	44.7	45.3	46.3	45.9	45.2	45.0	45.2
	割合	100.0	105.6	110.2	114.0	115.6	118.1	117.1	115.3	114.8	115.2
四国	進学率	38.8	40.6	41.8	43.5	43.7	43.7	44.5	42.7	42.6	43.0
	割合	100.0	104.6	107.7	112.1	112.6	112.6	114.7	110.1	109.8	110.9
九州沖縄	進学率	31.9	34.0	35.5	36.9	38.2	38.4	38.4	37.8	37.7	38.3
	割合	100.0	106.6	111.3	115.7	119.7	120.4	120.4	118.5	118.2	120.2

短大進学率の推移(現役：エリア別：2005～2014年)

■ 2005年7.5%→2014年5.1%(2.4ポイント低下)

- ・ 全国で見ると2005年7.5%→2014年5.1%と、10年間で2.4ポイント低下。
- ・ 低下率が高いのは、1位南関東(62.4)、2位近畿(64.1)、3位北関東(64.7)。※
- ・ 低下率が低いのは、1位九州沖縄(87.2)、2位東北(84.2)、3位四国(80.0)。※
- ・ 進学率が高いのは、1位北陸(2014年7.7%)、2位甲信越(6.8%)、3位近畿・四国(6.0%)。

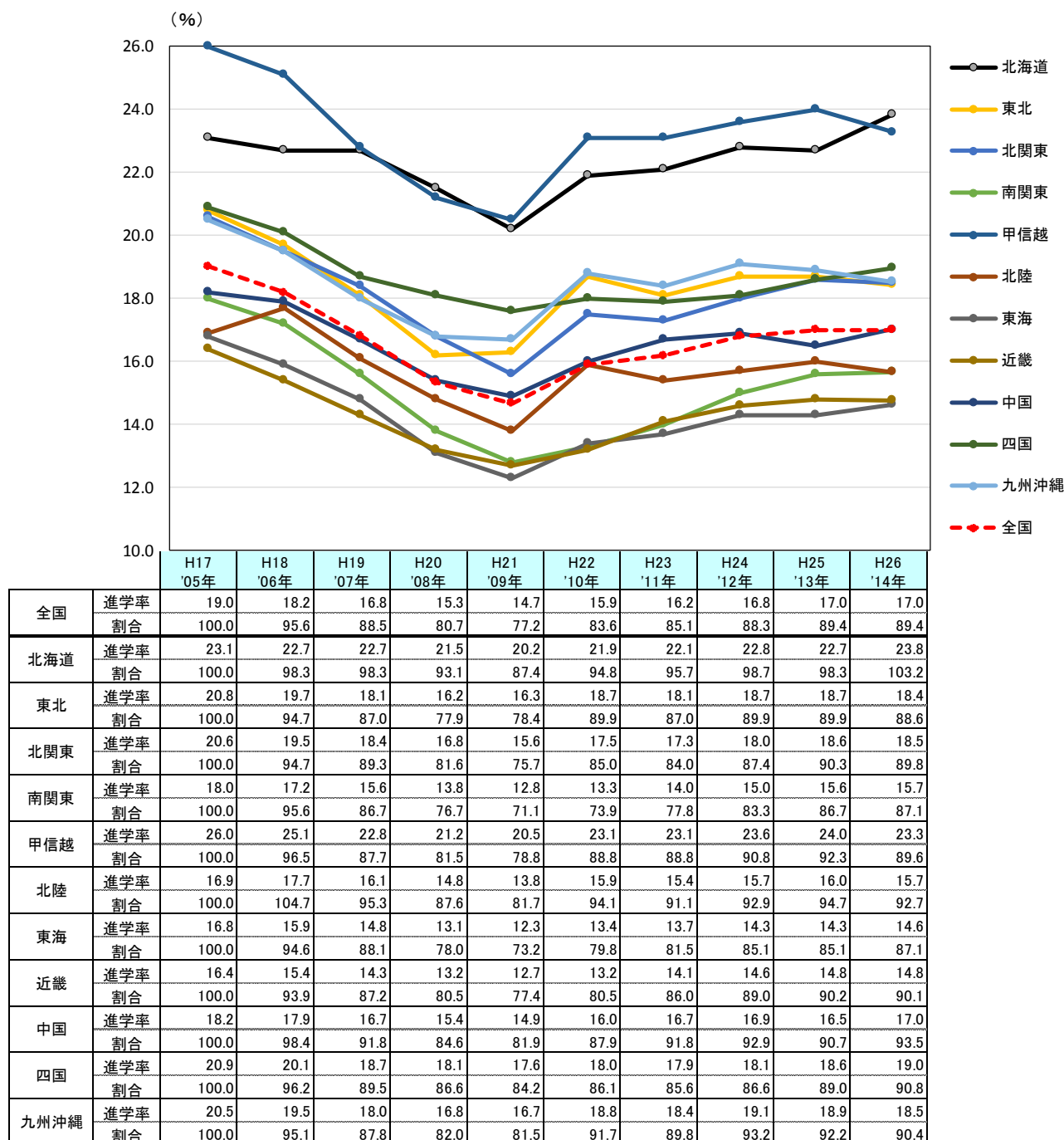
注) ※の()内の数値は、2005年を100としたときの2014年の指数



専門学校進学率の推移(現役：エリア別：2005～2014年)

■ 2005年19.0%→2014年17.0%(2.0ポイント低下)

- ・ 全国で見ると2005年19.0%→2014年17.0%と、10年間で2.0ポイント低下。
ただし最も低下したのは2009年14.7%で、そこから徐々に回復している。
 - ・ 低下率が高いのは、1位南関東・東海(87.1)、3位東北(88.6)。※
 - ・ 低下率が低いのは、1位北海道(103.2)、2位中国(93.5)、3位北陸(92.7)。※
 - ・ 進学率が高いのは、1位北海道(2014年23.8%)、2位甲信越(23.3%)、3位四国(19.0%)。
- 注) ※の()内の数値は、2005年を100としたときの2014年の指数



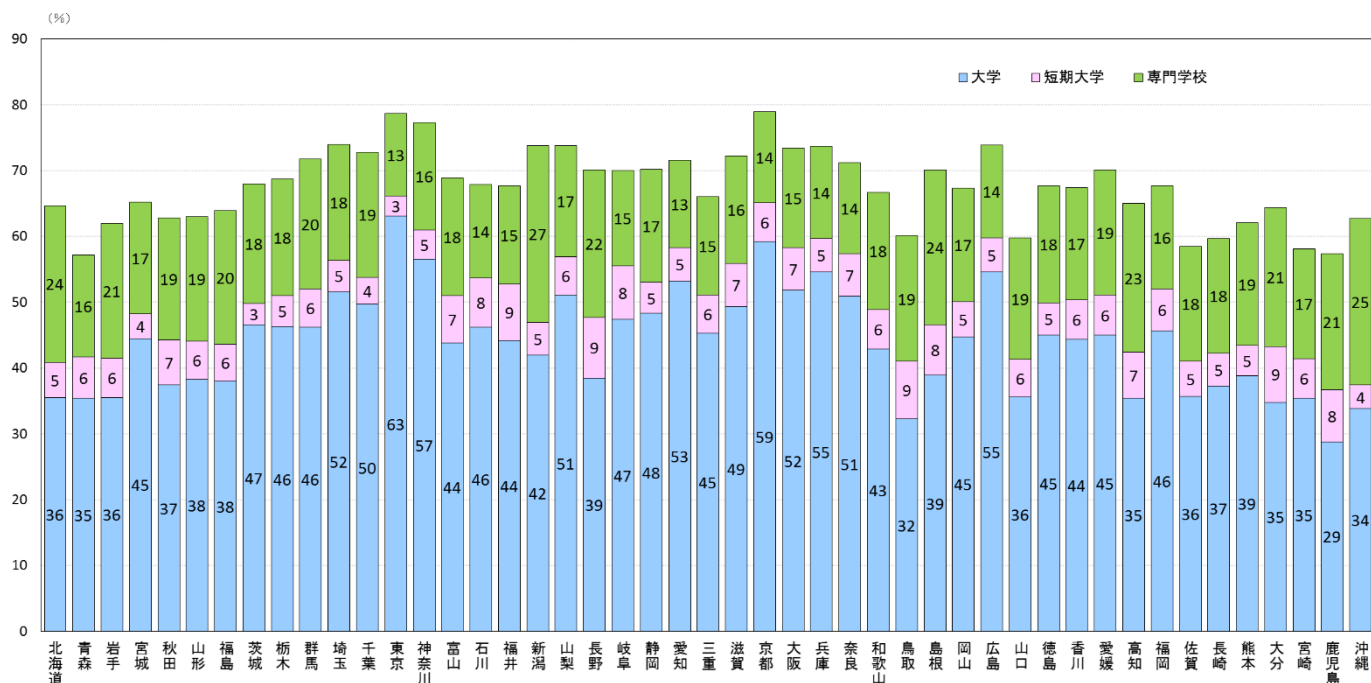
大学・短大・専門学校進学率(現役：都道府県別：2014年)

■ 大学進学率1位は東京、短大進学率1位は長野、専門学校進学率1位は新潟

大学進学率 1位：東京(63.1%) 2位：京都(59.2%) 3位：神奈川(56.5%)

短大進学率 1位：長野(9.2%) 2位：鳥取(8.7%) 3位：福井(8.6%)

専門学校進学率 1位：新潟(26.9%) 2位：沖縄(25.3%) 3位：北海道(23.8%)



(参考) 大学・短大・専門学校進学率ランキング (%)

大学進学率				短期大学				専門学校			
1	東京	京	63.1	1	長野	野	9.2	1	新潟	潟	26.9
2	京都	都	59.2	2	鳥取	取	8.7	2	沖縄	縄	25.3
3	神奈川	川	56.5	3	福井	井	8.6	3	北海道	道	23.8
4	広島	島	54.6	4	大分	分	8.5	4	島根	根	23.5
4	兵庫	庫	54.6	5	岐阜	阜	8.1	5	高知	知	22.6
6	愛知	知	53.2	6	鹿児島	島	7.9	6	長野	野	22.4
7	大阪	阪	51.8	7	鹿島根	根	7.7	7	大分	分	21.1
8	埼玉	玉	51.6	8	石川	川	7.5	8	鹿児島	島	20.7
9	山梨	梨	51.1	9	富山	山	7.2	9	岩手	手	20.5
10	奈良	良	50.9	10	高知	知	7.0	10	福島	島	20.3
11	千葉	葉	49.7	11	秋田	田	6.9	11	群馬	馬	19.8
12	滋賀	賀	49.3	12	滋賀	賀	6.6	12	鳥取	取	19.1
13	静岡	岡	48.3	13	大分	阪	6.5	13	愛媛	媛	19.0
14	岐阜	阜	47.4	13	奈良	良	6.5	13	千代田	田	19.0
15	茨城	城	46.6	15	青森	森	6.3	15	山形	形	18.9
16	栃木	木	46.3	15	福岡	岡	6.3	16	熊本	本	18.7
17	石川	川	46.2	17	愛媛	媛	6.1	17	秋田	田	18.5
17	群馬	馬	46.2	18	岩手	手	6.0	17	山口	口	18.5
19	福岡	岡	45.7	18	香川	川	6.0	19	茨城	城	18.2
20	三重	重	45.3	18	宮崎	崎	6.0	20	富山	山	17.9
				18	和歌山	山	6.0				

大学・短大・専門学校進学率(現役・過年度比較：全国：2006～2015年)

- 現役と過年度の進学率の差は、大学は3.4ポイント(過年度が高い)、短大は差なし、専門学校は5.4ポイント(過年度が高い)

大学進学者

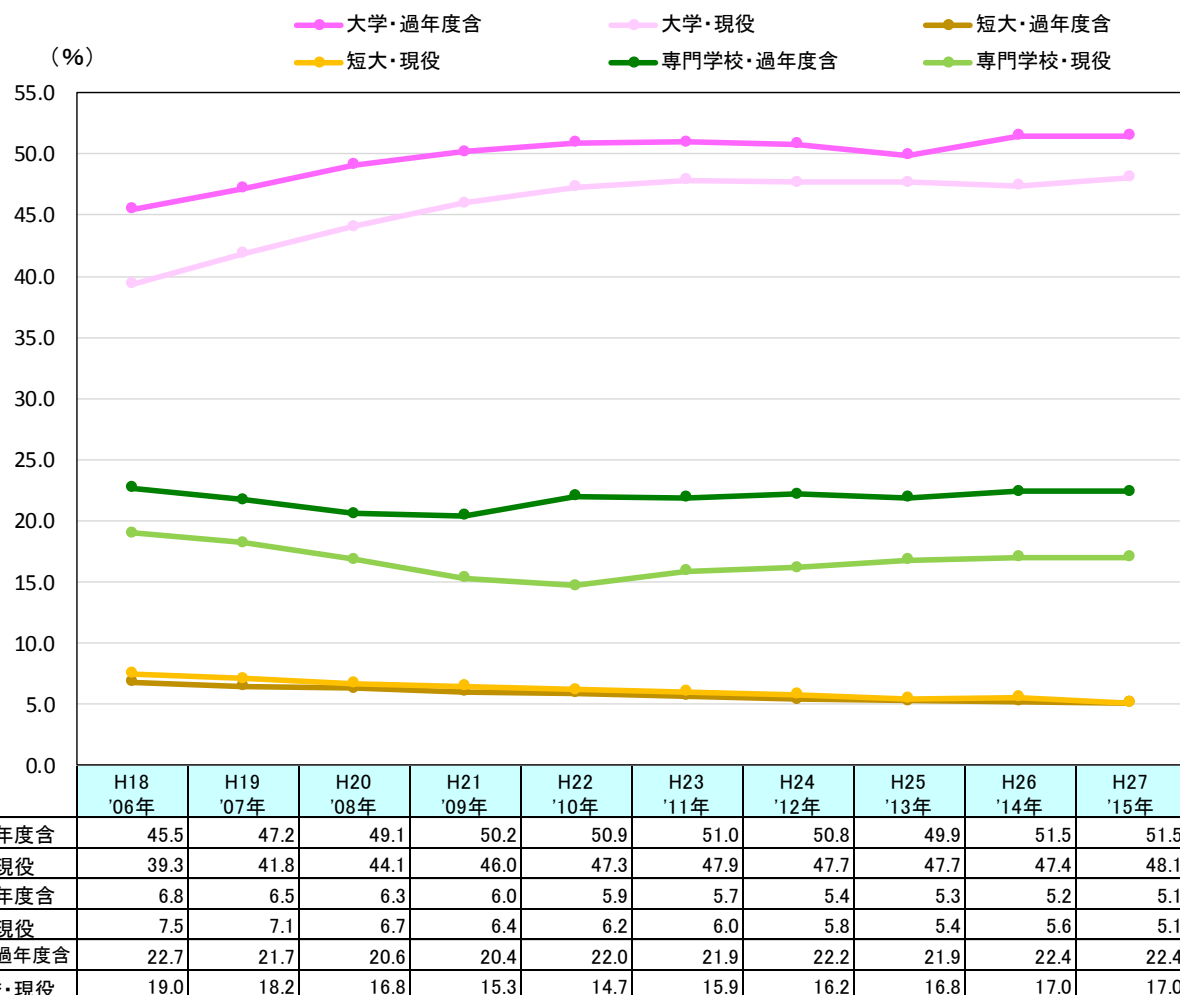
- ・ 現役の進学率は2006年39.3%→2015年48.1%(8.8ポイント上昇)。
- ・ 過年度の進学率は2006年45.5%→2015年51.5%(6.0ポイント上昇)。
- ・ 過年度と現役の進学率の差は2006年6.2ポイント→2015年3.4ポイント。
- ・ 最も差が縮まるのは2013年の2.2ポイント。

短大進学者

- ・ 現役の進学率は2006年7.5%→2015年5.1%(2.4ポイント低下)。
- ・ 過年度の進学率は2006年6.8%→2015年5.1%(1.7ポイント低下)。
- ・ 過年度と現役の進学率の差は2006年0.7ポイント→2015年0ポイントと差がなくなっている。

専門学校進学者

- ・ 現役の進学率は2006年19.0%→2015年17.0%(2.0ポイント低下)。
- ・ 過年度の進学率は2006年22.7%→2015年22.4%(0.3ポイント低下)。
- ・ 過年度と現役の進学率の差は2006年3.7ポイント→2015年5.4ポイントと拡大。

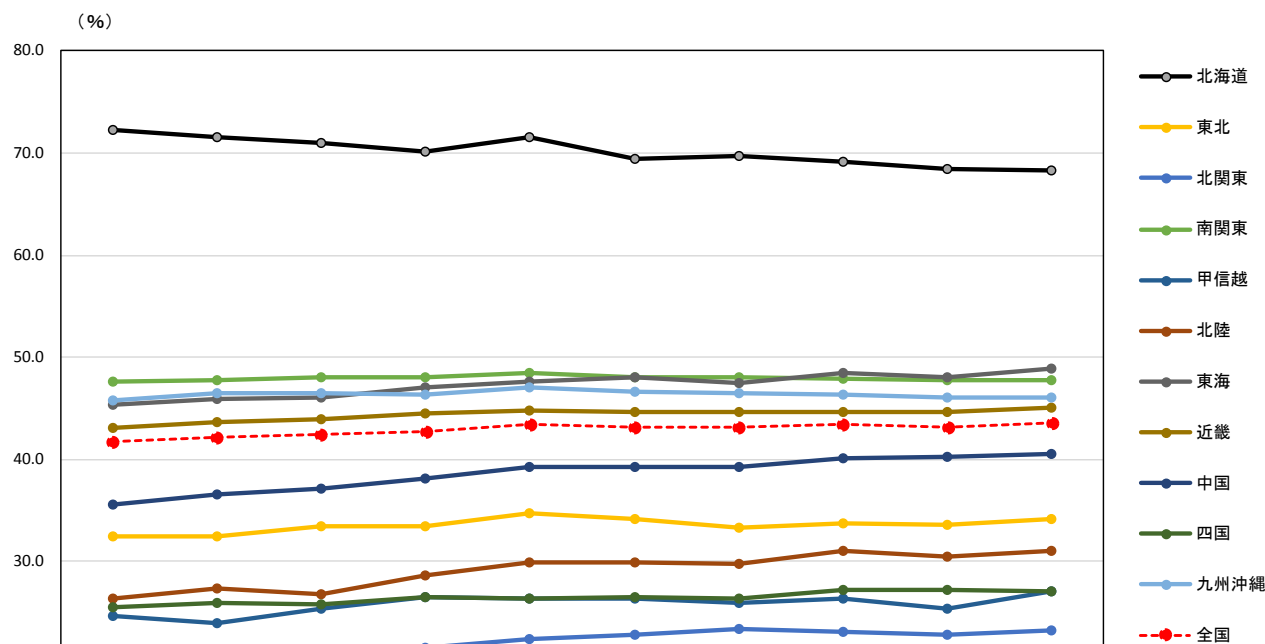


地元残留率の推移(全体：大学進学者：エリア別：2006～2015年)

■ 2006年41.8%→2015年43.6%(1.8ポイント上昇)

- ・ 全国で2006年41.8%→2015年43.6%と1.8ポイント上昇。北海道以外の全エリアで上昇した。
- ・ 上昇率が高いのは、1位北陸(117.8)、2位中国(113.8)、3位甲信越(109.7)。※
- ・ 残留率が高いのは、1位北海道(2015年68.3%)、2位東海(48.9%)、3位南関東(47.8%)。
- ・ 北海道は2006年で72.2%という高い残留率だったが、2015年で68.3%と3.9ポイント低下。ただし数値としては抜きんで高く、2位の東海(48.9%)に20ポイント近い差をつけており、全体平均を引き上げている。

注) ※の()内の数値は、2006年を100としたときの2015年の指数



		H18年 '06年	H19年 '07年	H20年 '08年	H21年 '09年	H22年 '10年	H23年 '11年	H24年 '12年	H25年 '13年	H26年 '14年	H27年 '15年
全国	残留率	41.8	42.1	42.4	42.8	43.4	43.2	43.2	43.4	43.2	43.6
	割合	100.0	100.7	101.4	102.4	103.8	103.3	103.3	103.8	103.3	104.3
北海道	残留率	72.2	71.6	71.0	70.1	71.5	69.4	69.7	69.2	68.4	68.3
	割合	100.0	99.2	98.3	97.1	99.0	96.1	96.5	95.8	94.7	94.6
東北	残留率	32.4	32.4	33.4	33.4	34.7	34.2	33.3	33.7	33.6	34.1
	割合	100.0	100.0	103.1	103.1	107.1	105.6	102.8	104.0	103.7	105.2
北関東	残留率	21.4	21.1	21.4	21.6	22.4	22.8	23.4	23.1	22.8	23.2
	割合	100.0	98.6	100.0	100.9	104.7	106.5	109.3	107.9	106.5	108.4
南関東	残留率	47.6	47.8	48.0	48.1	48.5	48.1	48.0	47.9	47.7	47.8
	割合	100.0	100.4	100.8	101.1	101.9	101.1	100.8	100.6	100.2	100.4
甲信越	残留率	24.7	24.0	25.4	26.5	26.4	26.3	25.9	26.3	25.4	27.1
	割合	100.0	97.2	102.8	107.3	106.9	106.5	104.9	106.5	102.8	109.7
北陸	残留率	26.4	27.4	26.8	28.7	29.9	29.9	29.7	31.0	30.5	31.1
	割合	100.0	103.8	101.5	108.7	113.3	113.3	112.5	117.4	115.5	117.8
東海	残留率	45.4	45.9	46.1	47.0	47.6	48.0	47.5	48.4	48.0	48.9
	割合	100.0	101.1	101.5	103.5	104.8	105.7	104.6	106.6	105.7	107.7
近畿	残留率	43.1	43.6	44.0	44.5	44.8	44.7	44.7	44.6	44.7	45.0
	割合	100.0	101.2	102.1	103.2	103.9	103.7	103.7	103.5	103.7	104.4
中国	残留率	35.6	36.6	37.1	38.1	39.2	39.3	39.2	40.1	40.3	40.5
	割合	100.0	102.8	104.2	107.0	110.1	110.4	110.1	112.6	113.2	113.8
四国	残留率	25.5	25.9	25.8	26.5	26.3	26.5	26.3	27.2	27.2	27.1
	割合	100.0	101.6	101.2	103.9	103.1	103.9	103.1	106.7	106.7	106.3
九州沖縄	残留率	45.8	46.5	46.5	46.3	47.1	46.6	46.5	46.3	46.0	46.1
	割合	100.0	98.5	98.5	98.9	97.2	98.3	98.5	98.9	99.6	99.3

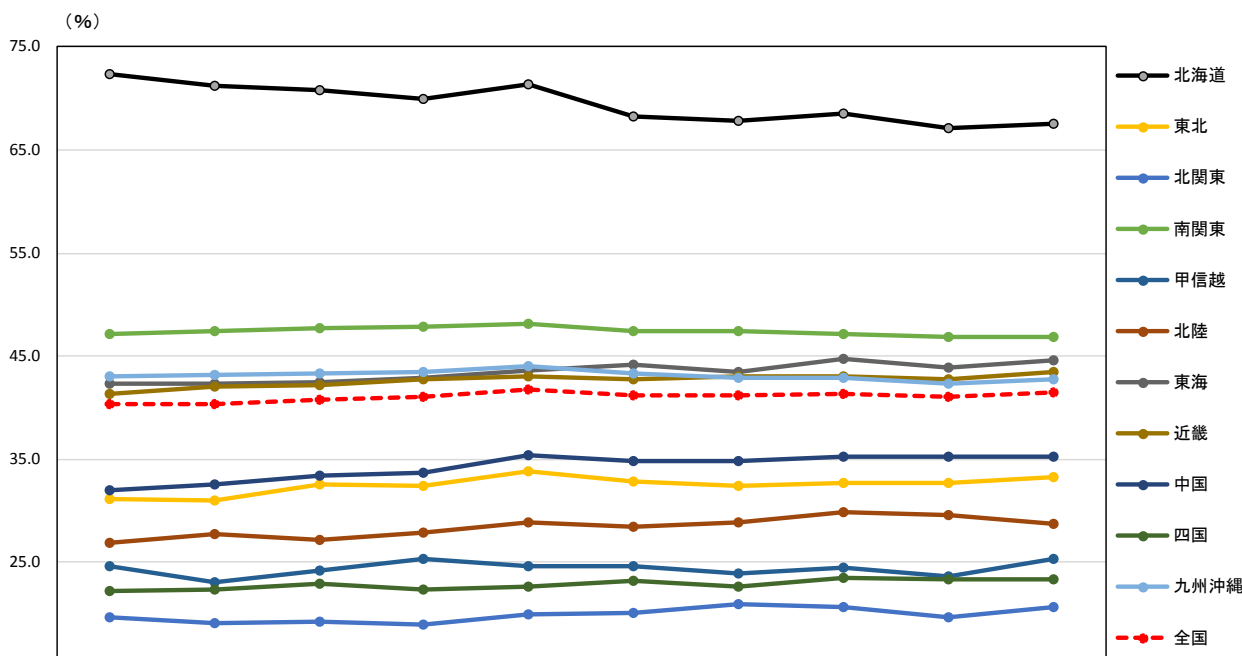
(残留率:%)

地元残留率の推移(男子：大学進学者：エリア別：2006～2015年)

■ 2006年40.3%→2015年41.5%(1.2ポイント上昇)

- ・ 全国で2006年40.3%→2015年41.5%と1.2ポイント上昇。
- ・ 上昇率が高いのは、1位中国(110.3)、2位東北・北陸(107.1)。※
- ・ 上昇率が低いのは、1位北海道(93.4)、2位九州沖縄(99.3)、3位南関東(99.4)。※
- ・ 残留率が高いのは、1位北海道(2015年67.5%)、2位南関東(46.8%)、3位東海(44.6%)。

注) ※の()内の数値は、2006年を100としたときの2015年の指数



		H18年 '06年	H19年 '07年	H20年 '08年	H21年 '09年	H22年 '10年	H23年 '11年	H24年 '12年	H25年 '13年	H26年 '14年	H27年 '15年
全国	残留率	40.3	40.4	40.8	41.1	41.7	41.2	41.2	41.4	41.0	41.5
	割合	100.0	100.2	101.2	102.0	103.5	102.2	102.2	102.7	101.7	103.0
北海道	残留率	72.3	71.3	70.8	69.9	71.4	68.2	67.8	68.5	67.1	67.5
	割合	100.0	98.6	97.9	96.7	98.8	94.3	93.8	94.7	92.8	93.4
東北	残留率	31.1	31.0	32.5	32.4	33.9	32.8	32.4	32.7	32.7	33.3
	割合	100.0	99.7	104.5	104.2	109.0	105.5	104.2	105.1	105.1	107.1
北関東	残留率	19.7	19.1	19.2	19.0	20.0	20.1	20.9	20.7	19.7	20.6
	割合	100.0	97.0	97.5	96.4	101.5	102.0	106.1	105.1	100.0	104.6
南関東	残留率	47.1	47.5	47.7	47.9	48.1	47.5	47.4	47.2	46.8	46.8
	割合	100.0	100.8	101.3	101.7	102.1	100.8	100.6	100.2	99.4	99.4
甲信越	残留率	24.6	23.1	24.2	25.4	24.6	24.6	23.9	24.5	23.7	25.4
	割合	100.0	93.9	98.4	103.3	100.0	100.0	97.2	99.6	96.3	103.3
北陸	残留率	26.9	27.8	27.2	27.9	28.9	28.5	28.9	29.9	29.6	28.8
	割合	100.0	103.3	101.1	103.7	107.4	105.9	107.4	111.2	110.0	107.1
東海	残留率	42.3	42.4	42.5	42.9	43.6	44.2	43.4	44.8	43.9	44.6
	割合	100.0	100.2	100.5	101.4	103.1	104.5	102.6	105.9	103.8	105.4
近畿	残留率	41.3	42.0	42.2	42.8	43.1	42.8	43.1	43.0	42.8	43.5
	割合	100.0	101.7	102.2	103.6	104.4	103.6	104.4	104.1	103.6	105.3
中国	残留率	32.0	32.6	33.4	33.7	35.4	34.8	34.8	35.3	35.2	35.3
	割合	100.0	101.9	104.4	105.3	110.6	108.8	108.8	110.3	110.0	110.3
四国	残留率	22.2	22.3	22.9	22.3	22.6	23.2	22.6	23.5	23.4	23.4
	割合	100.0	100.5	103.2	100.5	101.8	104.5	101.8	105.9	105.4	105.4
九州沖縄	残留率	43.0	43.2	43.3	43.4	44.1	43.3	42.9	42.9	42.4	42.7
	割合	100.0	100.5	100.7	100.9	102.6	100.7	99.8	99.8	98.6	99.3

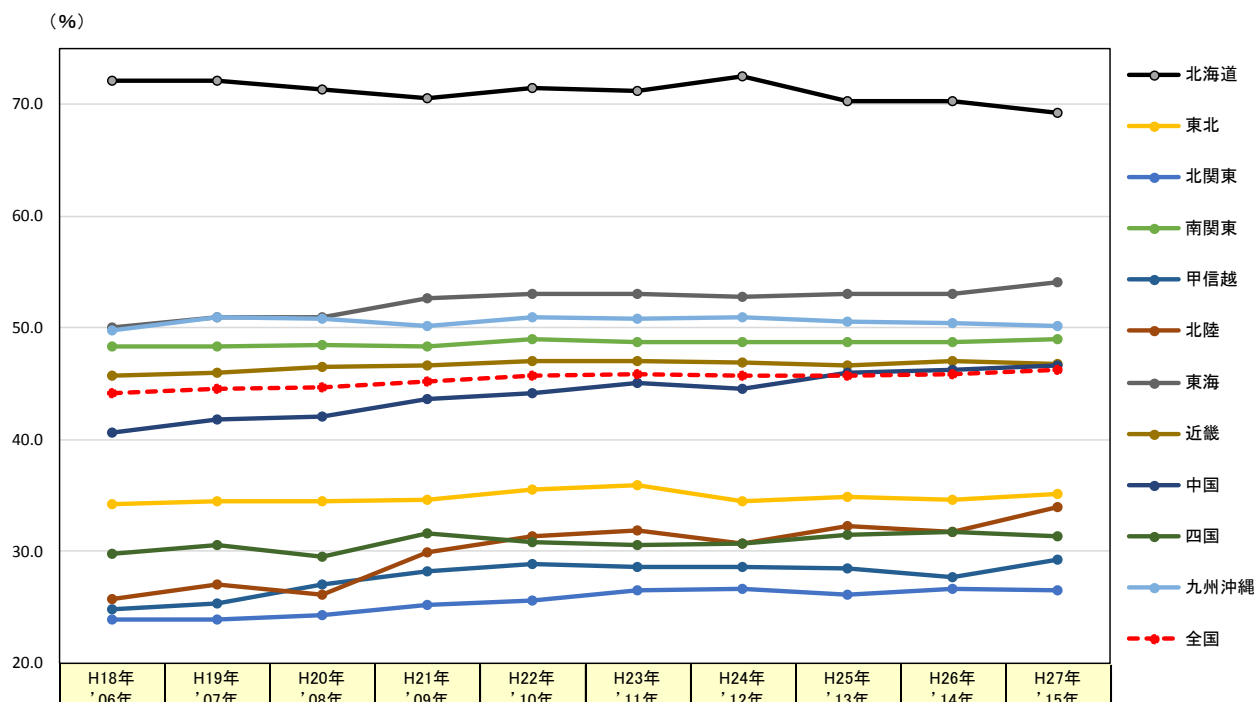
(残留率：%)

地元残留率の推移(女子：大学進学者：エリア別：2006～2015年)

■ 2006年44.1%→2015年46.2%(2.1ポイント上昇)

- ・ 全国で2006年44.1%→2015年46.2%と2.1ポイント上昇。
- ・ 上昇率が高いのは、1位北陸(132.4)、2位甲信越(117.7)、3位中国(115.0)。※
- ・ 10年間で低下したのは北海道(72.2%→69.3%)のみ。
- ・ 残留率が高いのは、1位北海道(2015年69.3%)、2位東海(54.1%)、3位九州沖縄(50.2%)。

注) ※の()内の数値は、2006年を100としたときの2015年の指数



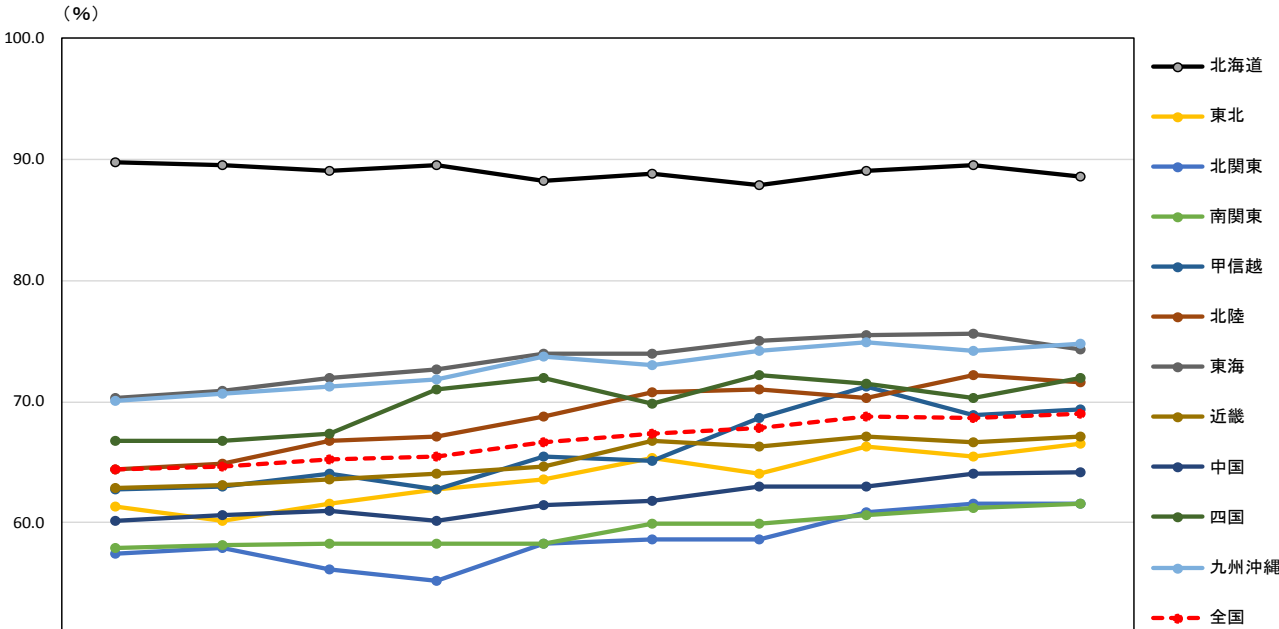
20.0		H18年 '06年	H19年 '07年	H20年 '08年	H21年 '09年	H22年 '10年	H23年 '11年	H24年 '12年	H25年 '13年	H26年 '14年	H27年 '15年
全国	残留率	44.1	44.5	44.7	45.2	45.7	45.9	45.7	45.8	45.9	46.2
	割合	100.0	100.9	101.3	102.5	103.6	104.1	103.6	103.8	104.1	104.7
北海道	残留率	72.2	72.2	71.4	70.6	71.5	71.2	72.5	70.3	70.3	69.3
	割合	100.0	100.0	98.9	97.8	99.1	98.7	100.5	97.4	97.4	96.0
東北	残留率	34.2	34.5	34.5	34.6	35.6	35.9	34.5	34.9	34.6	35.1
	割合	100.0	100.9	100.9	101.2	104.1	105.0	100.9	102.1	101.2	102.7
北関東	残留率	23.9	23.9	24.3	25.2	25.6	26.5	26.6	26.1	26.7	26.5
	割合	100.0	100.1	101.8	105.5	107.2	111.0	111.4	109.3	111.8	111.0
南関東	残留率	48.3	48.3	48.5	48.4	49.0	48.8	48.7	48.8	48.7	49.0
	割合	100.0	100.0	100.4	100.2	101.4	101.0	100.8	101.0	100.8	101.4
甲信越	残留率	24.9	25.3	27.1	28.2	28.9	28.6	28.6	28.5	27.7	29.3
	割合	100.0	101.7	108.9	113.3	116.1	114.9	114.9	114.5	111.3	117.7
北陸	残留率	25.7	27.0	26.1	29.9	31.3	31.9	30.7	32.3	31.8	34.0
	割合	100.0	105.1	101.6	116.4	121.9	124.2	119.6	125.8	123.8	132.4
東海	残留率	50.1	50.9	51.0	52.6	53.0	53.0	52.8	53.0	53.1	54.1
	割合	100.0	101.6	101.8	105.0	105.8	105.8	105.4	105.8	106.0	108.0
近畿	残留率	45.8	46.0	46.5	46.7	47.1	47.1	46.9	46.6	47.0	46.8
	割合	100.0	100.5	101.6	102.0	102.9	102.9	102.5	101.8	102.7	102.3
中国	残留率	40.6	41.8	42.1	43.6	44.2	45.1	44.6	46.0	46.3	46.7
	割合	100.0	102.9	103.7	107.3	108.8	111.0	109.8	113.3	114.0	115.0
四国	残留率	29.8	30.6	29.5	31.6	30.8	30.6	30.7	31.5	31.7	31.4
	割合	100.0	102.6	98.9	105.9	103.2	102.6	102.9	105.6	106.3	105.3
九州沖縄	残留率	49.8	50.9	50.8	50.2	51.0	50.8	50.9	50.6	50.4	50.2
	割合	100.0	102.2	102.0	100.8	102.4	102.0	102.2	101.6	101.2	100.0

(残留率:%)

地元残留率の推移(全体：短大進学者：エリア別：2006～2015年)

■ 2006年64.4%→2015年69.0%(4.6ポイント上昇)

- ・ 全国で2006年64.4%→2015年69.0%と4.6ポイント上昇。
 - ・ 上昇率が高いのは、1位北陸(111.2)、2位甲信越(110.4)、3位東北(108.5)。※
 - ・ 10年間で低下したのは北海道(89.8%→88.6%)のみ。
 - ・ 残留率が高いのは、1位北海道(2015年88.6%)、2位九州沖縄(74.8%)、3位東海(74.3%)。
- 注) ※の()内の数値は、2006年を100としたときの2015年の指数



		H18年 '06年	H19年 '07年	H20年 '08年	H21年 '09年	H22年 '10年	H23年 '11年	H24年 '12年	H25年 '13年	H26年 '14年	H27年 '15年
全国	残留率	64.4	64.6	65.2	65.5	66.6	67.4	67.8	68.8	68.7	69.0
	割合	100.0	100.3	101.2	101.7	103.4	104.7	105.3	106.8	106.7	107.1
北海道	残留率	89.8	89.5	89.1	89.6	88.2	88.8	87.9	89.1	89.5	88.6
	割合	100.0	99.7	99.2	99.8	98.2	98.9	97.9	99.2	99.7	98.7
東北	残留率	61.3	60.1	61.6	62.8	63.6	65.3	64.1	66.3	65.4	66.5
	割合	100.0	98.0	100.5	102.4	103.8	106.5	104.6	108.2	106.7	108.5
北関東	残留率	57.4	57.9	56.1	55.2	58.2	58.6	58.6	60.8	61.6	61.6
	割合	100.0	100.9	97.7	96.2	101.4	102.1	102.1	105.9	107.3	107.3
南関東	残留率	57.9	58.1	58.3	58.2	58.2	59.9	59.9	60.6	61.2	61.6
	割合	100.0	100.3	100.7	100.5	100.5	103.5	103.5	104.7	105.7	106.4
甲信越	残留率	62.8	63.0	64.1	62.8	65.4	65.1	68.7	71.2	68.9	69.3
	割合	100.0	100.3	102.1	100.0	104.1	103.7	109.4	113.4	109.7	110.4
北陸	残留率	64.4	64.9	66.8	67.1	68.8	70.8	71.0	70.3	72.2	71.6
	割合	100.0	100.8	103.7	104.2	106.8	109.9	110.2	109.2	112.1	111.2
東海	残留率	70.3	70.9	72.0	72.7	73.9	74.0	75.0	75.5	75.6	74.3
	割合	100.0	100.9	102.4	103.4	105.1	105.3	106.7	107.4	107.5	105.7
近畿	残留率	62.9	63.1	63.6	64.1	64.6	66.7	66.3	67.1	66.6	67.1
	割合	100.0	100.3	101.1	101.9	102.7	106.0	105.4	106.7	105.9	106.7
中国	残留率	60.2	60.6	61.0	60.2	61.4	61.8	63.0	63.0	64.1	64.2
	割合	100.0	100.7	101.3	100.0	102.0	102.7	104.7	104.7	106.5	106.6
四国	残留率	66.7	66.7	67.3	71.0	72.0	69.8	72.2	71.5	70.3	72.0
	割合	100.0	100.0	100.9	106.4	107.9	104.6	108.2	107.2	105.4	107.9
九州沖縄	残留率	70.1	70.7	71.2	71.8	73.7	73.0	74.2	74.9	74.2	74.8
	割合	100.0	100.9	101.6	102.4	105.1	104.1	105.8	106.8	105.8	106.7

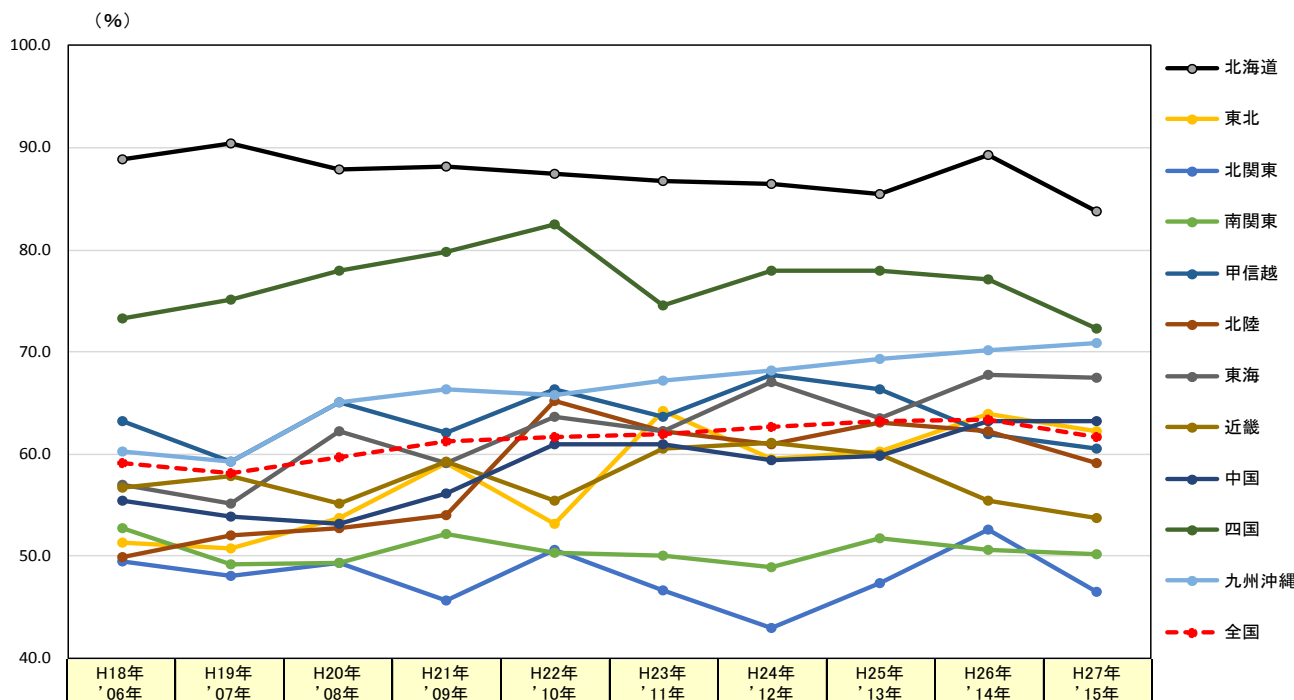
(残留率：%)

地元残留率の推移(男子：短大進学者：エリア別：2006～2015年)

■ 2006年59.1%→2015年61.7%(2.6ポイント上昇)

- ・ 全国で2006年59.1%→2015年61.7%と2.6ポイント上昇。
- ・ 上昇率が高いのは、1位東北(121.2)、2位北陸・東海(118.4)。※
- ・ 上昇率が低いのは、1位北関東(93.9)、2位北海道(94.2)、3位近畿(94.7)。※
- ・ 残留率が高いのは、1位北海道(2015年83.7%)、2位四国(72.3%)、3位九州沖縄(70.9%)。

注) ※の()内の数値は、2006年を100としたときの2015年の指数



		H18年 '06年	H19年 '07年	H20年 '08年	H21年 '09年	H22年 '10年	H23年 '11年	H24年 '12年	H25年 '13年	H26年 '14年	H27年 '15年
全国	残留率	59.1	58.1	59.7	61.3	61.7	61.9	62.6	63.2	63.3	61.7
	割合	100.0	98.3	101.0	103.7	104.4	104.7	105.9	106.9	107.1	104.4
北海道	残留率	88.9	90.4	87.9	88.1	87.4	86.8	86.5	85.5	89.3	83.7
	割合	100.0	101.7	98.9	99.1	98.3	97.6	97.3	96.2	100.4	94.2
東北	残留率	51.3	50.7	53.7	59.1	53.2	64.2	59.5	60.3	64.0	62.2
	割合	100.0	98.8	104.7	115.2	103.7	125.1	116.0	117.5	124.8	121.2
北関東	残留率	49.5	48.1	49.4	45.6	50.6	46.6	43.0	47.3	52.6	46.5
	割合	100.0	97.2	99.8	92.1	102.2	94.1	86.9	95.6	106.3	93.9
南関東	残留率	52.7	49.2	49.3	52.2	50.3	50.0	48.9	51.7	50.6	50.2
	割合	100.0	93.4	93.5	99.1	95.4	94.9	92.8	98.1	96.0	95.3
甲信越	残留率	63.2	59.3	65.0	62.1	66.4	63.7	67.8	66.3	61.9	60.6
	割合	100.0	93.8	102.8	98.3	105.1	100.8	107.3	104.9	97.9	95.9
北陸	残留率	49.9	52.0	52.8	54.0	65.2	62.2	60.9	63.1	62.3	59.1
	割合	100.0	104.2	105.8	108.2	130.7	124.6	122.0	126.5	124.8	118.4
東海	残留率	57.0	55.1	62.2	59.1	63.7	62.3	67.0	63.5	67.8	67.5
	割合	100.0	96.7	109.1	103.7	111.8	109.3	117.5	111.4	118.9	118.4
近畿	残留率	56.7	57.9	55.1	59.3	55.4	60.5	61.1	59.9	55.4	53.7
	割合	100.0	102.1	97.2	104.6	97.7	106.7	107.8	105.6	97.7	94.7
中国	残留率	55.5	53.9	53.1	56.2	60.9	60.9	59.4	59.8	63.2	63.2
	割合	100.0	97.1	95.7	101.3	109.7	109.7	107.0	107.7	113.9	113.9
四国	残留率	73.3	75.1	77.9	79.8	82.5	74.6	77.9	78.0	77.1	72.3
	割合	100.0	102.5	106.3	108.9	112.6	101.8	106.3	106.4	105.2	98.6
九州沖縄	残留率	60.2	59.2	65.1	66.4	65.8	67.2	68.2	69.3	70.2	70.9
	割合	100.0	98.3	108.1	110.3	109.3	111.6	113.3	115.1	116.6	117.8

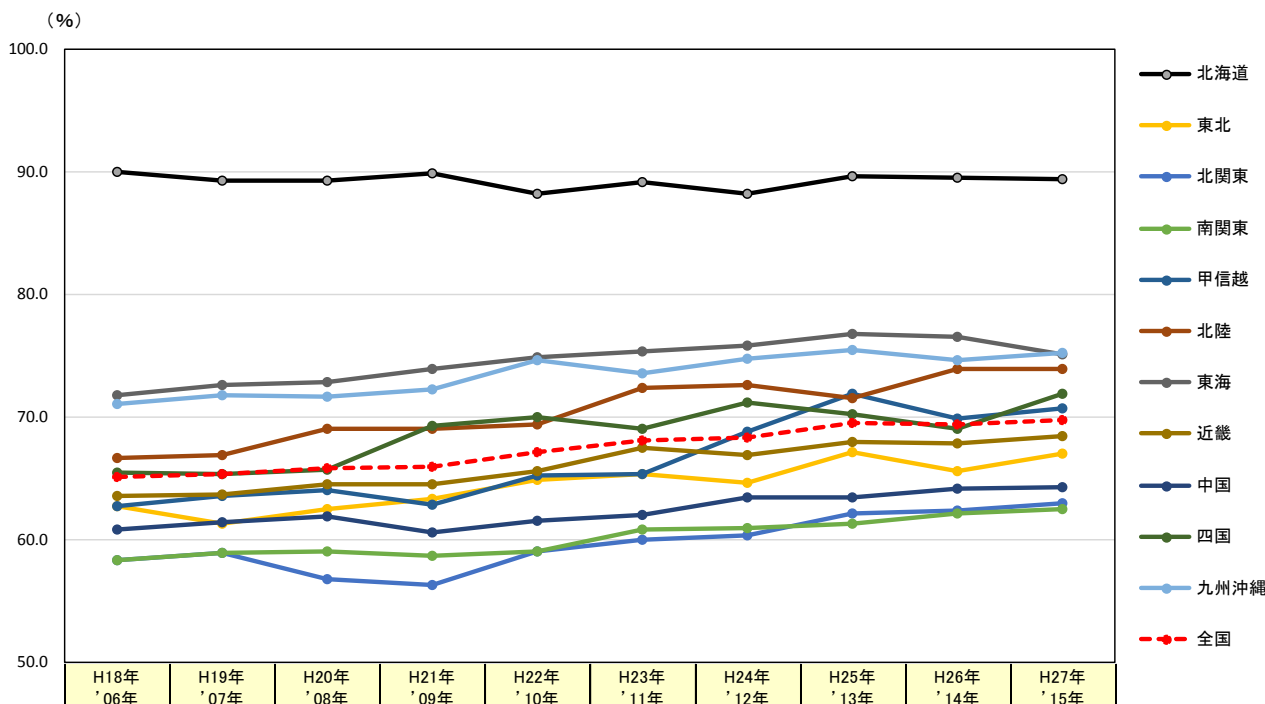
(残留率：%)

地元残留率の推移(女子：短大進学者：エリア別：2006～2015年)

■ 2006年65.1%→2015年69.8%(4.7ポイント上昇)

- ・ 全国で2006年65.1%→2015年69.8%と4.7ポイント上昇。
- ・ 上昇率が高いのは、1位甲信越(112.8)、2位北陸(109.8)、3位四国(109.8)。※
- ・ 10年間で低下したのは北海道(90.0%→89.4%)のみ。
- ・ 残留率が高いのは、1位北海道(2015年89.4%)、2位九州沖縄(75.2%)、3位東海(75.1%)。

注) ※の()内の数値は、2006年を100としたときの2015年の指数



		H18年 '06年	H19年 '07年	H20年 '08年	H21年 '09年	H22年 '10年	H23年 '11年	H24年 '12年	H25年 '13年	H26年 '14年	H27年 '15年
全国	残留率	65.1	65.4	65.8	65.9	67.2	68.1	68.4	69.5	69.4	69.8
	割合	100.0	100.5	101.1	101.2	103.2	104.6	105.1	106.8	106.6	107.2
北海道	残留率	90.0	89.3	89.3	89.9	88.3	89.2	88.2	89.7	89.5	89.4
	割合	100.0	99.2	99.2	99.9	98.1	99.1	98.0	99.7	99.4	99.3
東北	残留率	62.7	61.3	62.5	63.3	64.9	65.4	64.7	67.2	65.6	67.0
	割合	100.0	97.8	99.7	101.0	103.5	104.3	103.2	107.2	104.6	106.9
北関東	残留率	58.3	58.9	56.8	56.3	59.0	60.0	60.3	62.2	62.4	63.0
	割合	100.0	101.0	97.4	96.6	101.2	102.9	103.4	106.7	107.0	108.1
南関東	残留率	58.3	58.9	59.1	58.7	59.0	60.8	60.9	61.3	62.2	62.5
	割合	100.0	101.0	101.4	100.7	101.2	104.3	104.5	105.1	106.7	107.2
甲信越	残留率	62.7	63.6	64.0	62.9	65.2	65.4	68.8	71.9	69.9	70.7
	割合	100.0	101.4	102.1	100.3	104.0	104.3	109.7	114.7	111.5	112.8
北陸	残留率	66.7	66.9	69.0	69.0	69.4	72.4	72.6	71.5	73.9	73.9
	割合	100.0	100.3	103.4	103.4	104.0	108.5	108.8	107.2	110.8	110.8
東海	残留率	71.8	72.6	72.9	74.0	74.9	75.4	75.9	76.8	76.6	75.1
	割合	100.0	101.1	101.5	103.1	104.3	105.0	105.7	107.0	106.7	104.6
近畿	残留率	63.6	63.7	64.5	64.5	65.6	67.5	66.9	68.0	67.9	68.5
	割合	100.0	100.2	101.4	101.4	103.1	106.1	105.2	106.9	106.8	107.7
中国	残留率	60.8	61.4	61.9	60.6	61.5	62.0	63.4	63.4	64.2	64.3
	割合	100.0	101.0	101.8	99.7	101.2	102.0	104.3	104.3	105.6	105.8
四国	残留率	65.5	65.4	65.7	69.3	70.0	69.0	71.2	70.2	69.1	71.9
	割合	100.0	99.8	100.3	105.8	106.9	105.3	108.7	107.2	105.5	109.8
九州沖縄	残留率	71.1	71.8	71.7	72.3	74.6	73.6	74.8	75.5	74.6	75.2
	割合	100.0	101.0	100.8	101.7	104.9	103.5	105.2	106.2	104.9	105.8

(残留率：%)

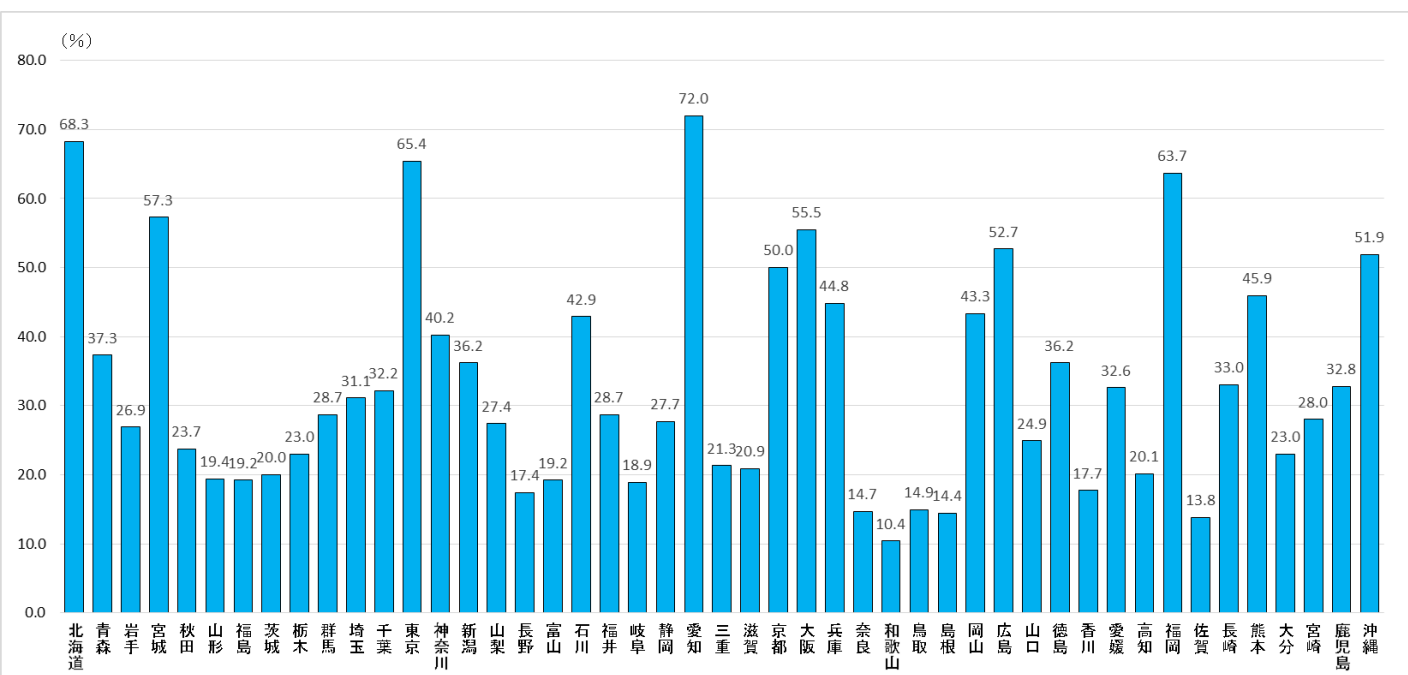
地元残留率(全体：大学・短大進学者：都道府県別：2015年)

■大学残留率1位は愛知、短大残留率1位は福岡

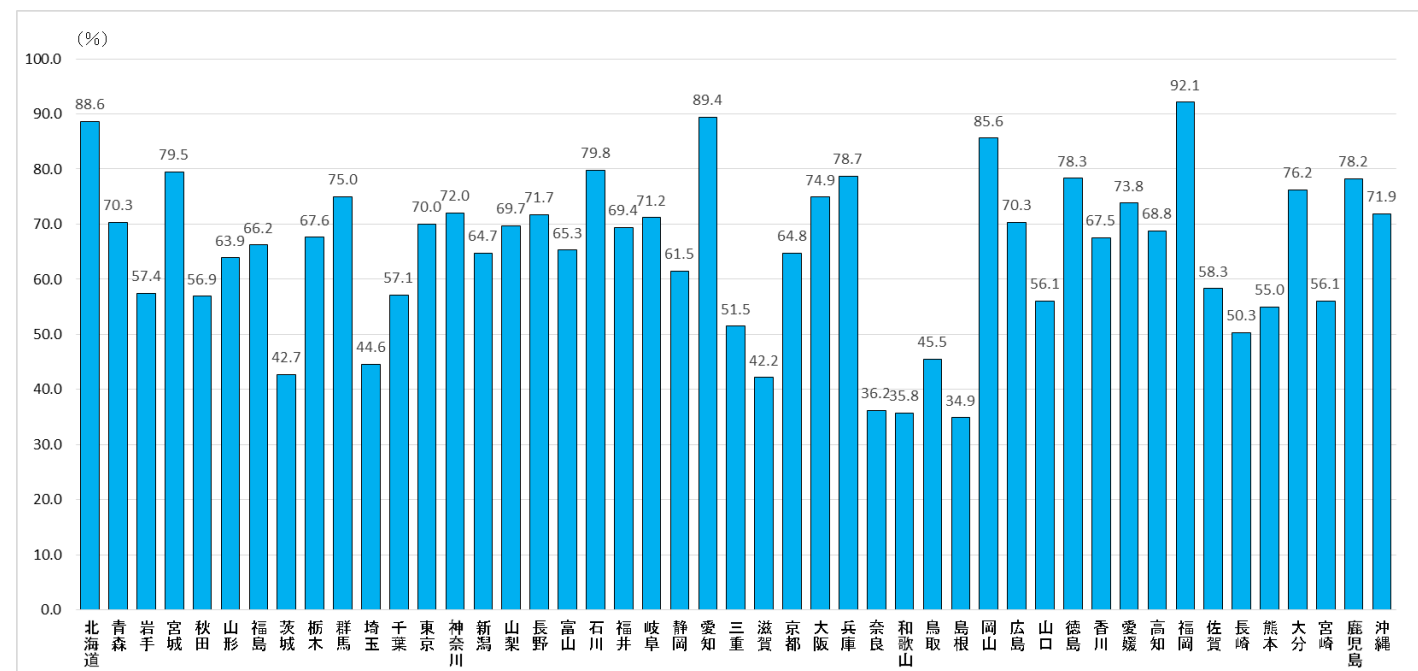
大学残留率 残留率が高いのは、1位愛知(72.0%)、2位北海道(68.3%)、3位東京(65.4%)
 残留率が低いのは、1位和歌山(10.4%)、2位佐賀(13.8%)、3位島根(14.4%)

短大残留率 残留率が高いのは、1位福岡(92.1%)、2位愛知(89.4%)、3位北海道(88.6%)
 残留率が低いのは、1位島根(34.9%)、2位和歌山(35.8%)、3位奈良(36.2%)

・大学残留率



・短大残留率



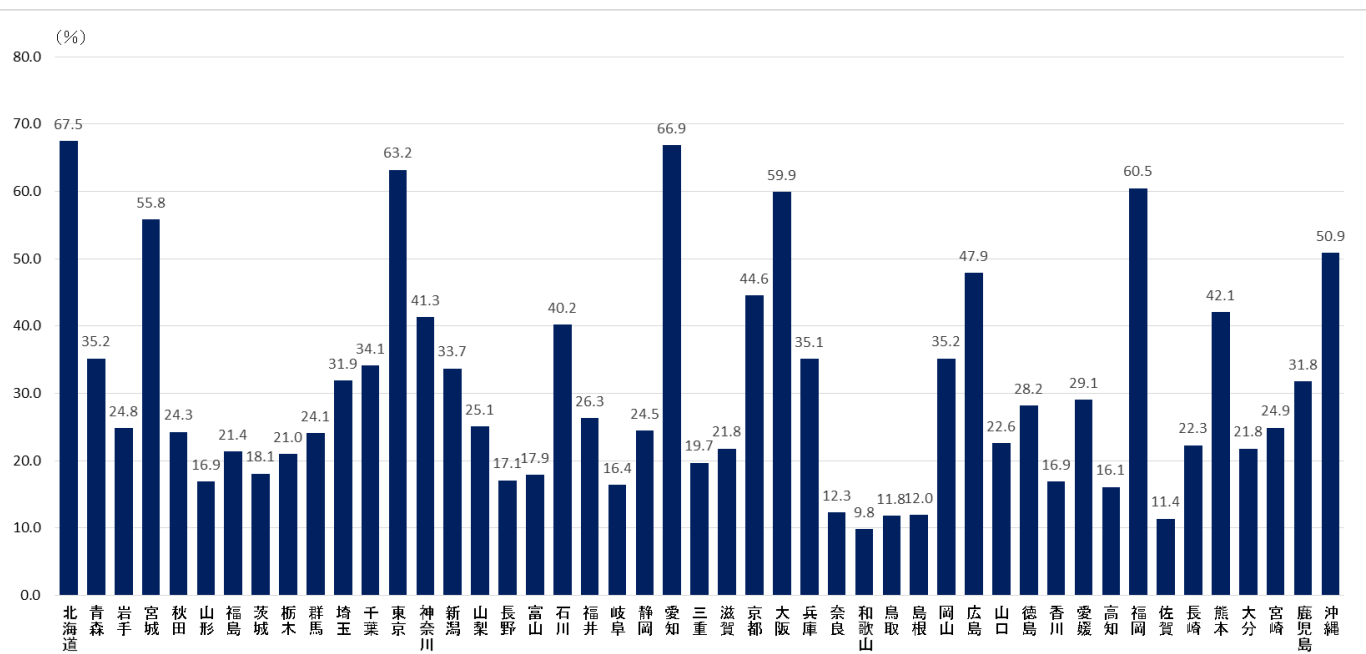
地元残留率(男子：大学・短大進学者：都道府県別：2015年)

■ 大学残留率1位は北海道、短大残留率1位は徳島

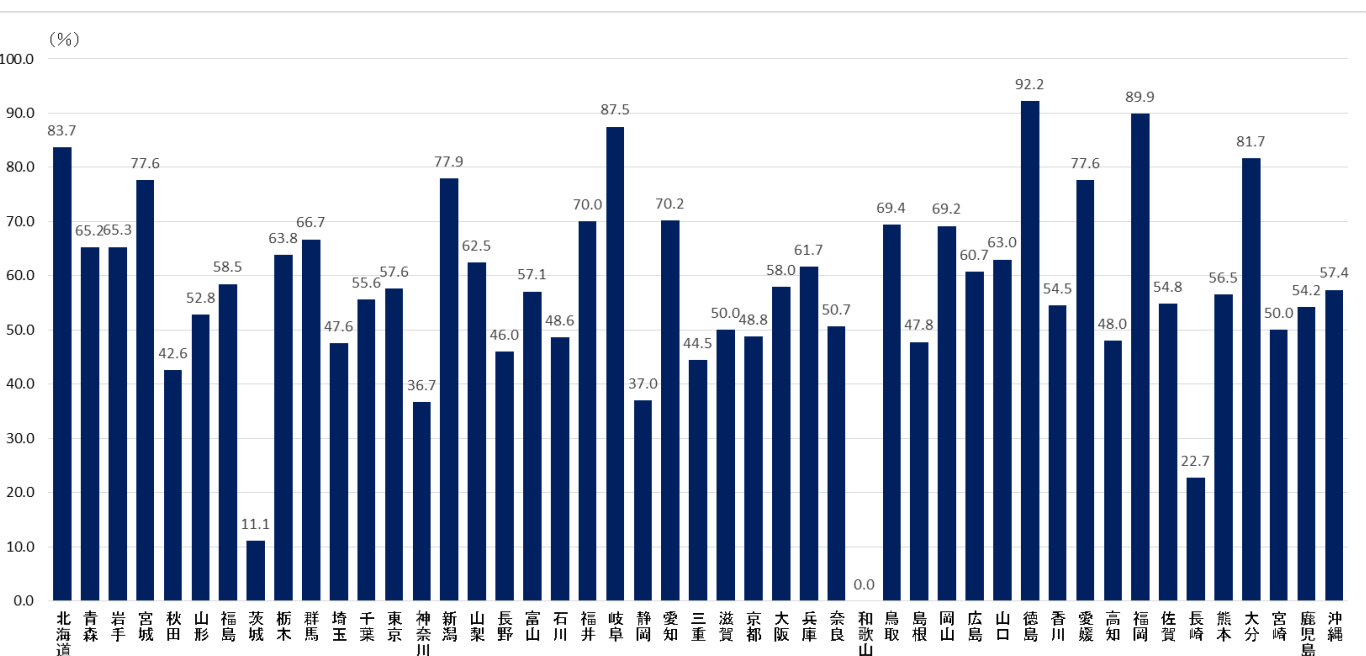
大学残留率 残留率が高いのは、1位北海道(67.5%)、2位愛知(66.9%)、3位東京(63.2%)
 残留率が低いのは、1位和歌山(9.8%)、2位佐賀(11.4%)、3位鳥取(11.8%)

短大残留率 残留率が高いのは、1位徳島(92.2%)、2位福岡(89.9%)、3位岐阜(87.5%)
 残留率が低いのは、1位和歌山(0.0%)、2位茨城(11.1%)、3位長崎(22.7%)

・ 大学残留率



・ 短大残留率



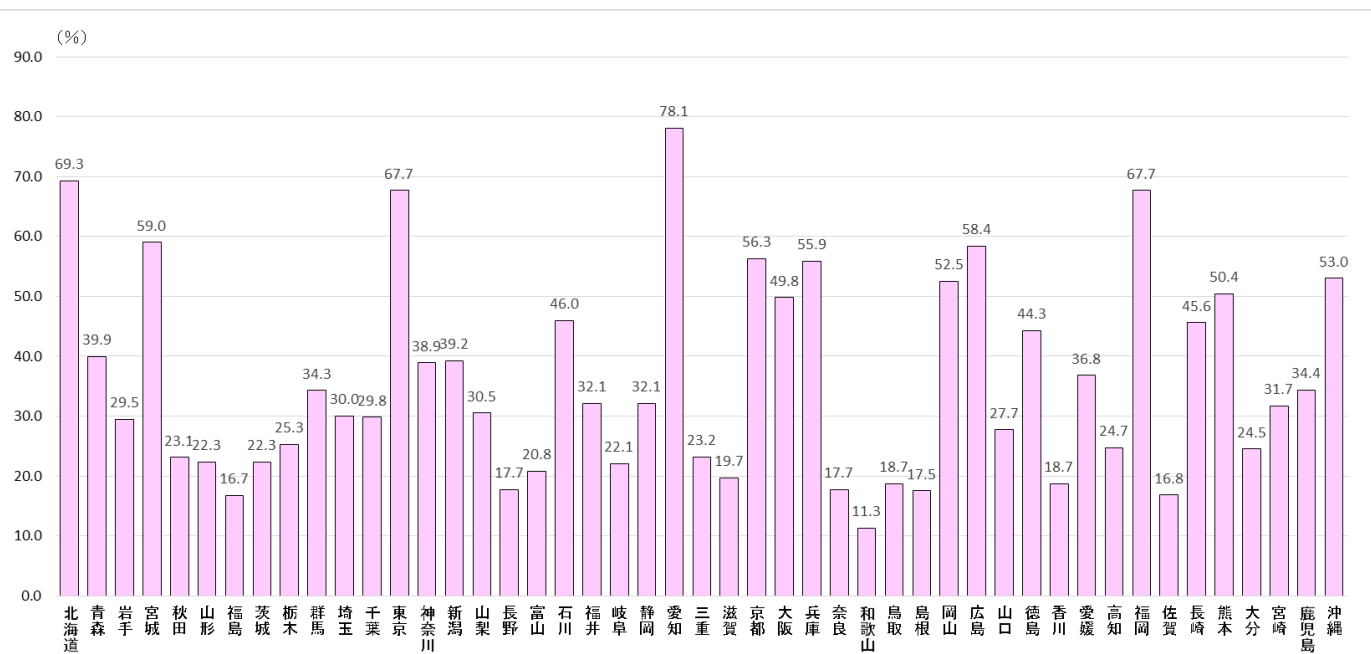
地元残留率(女子：大学・短大進学者：都道府県別：2015年)

■大学残留率1位は愛知、短大残留率1位は福岡

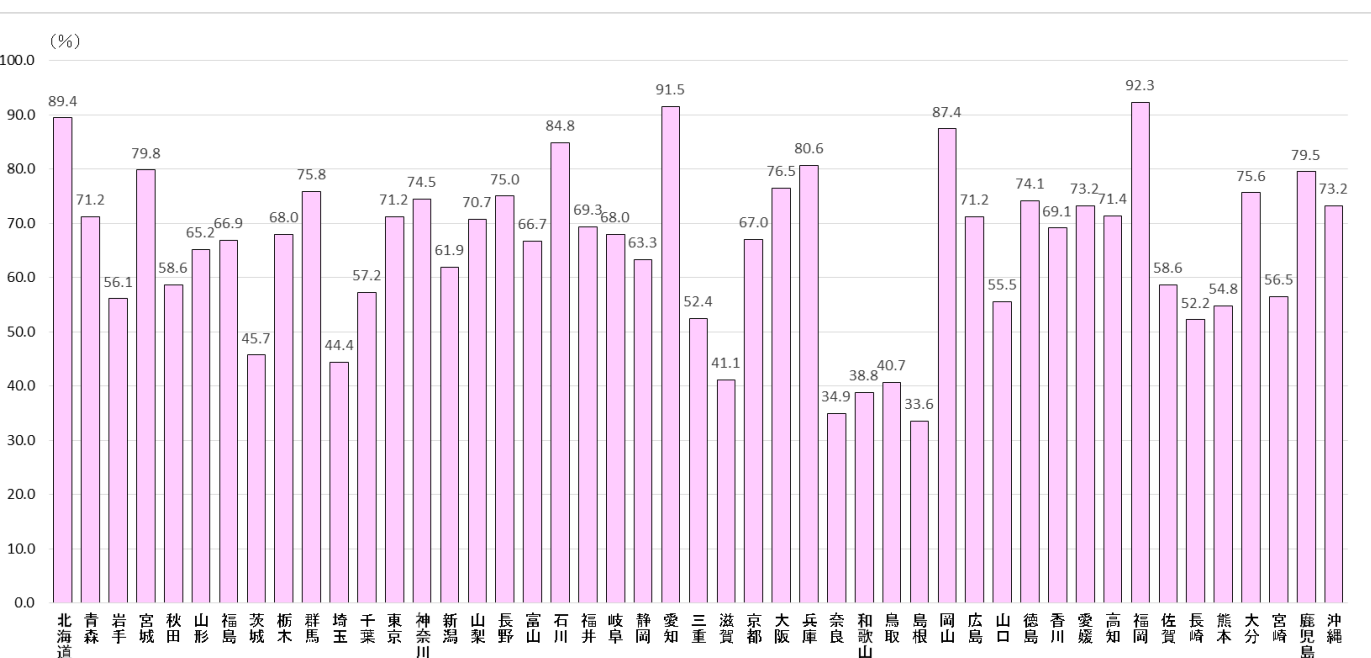
大学残留率 残留率が高いのは、1位愛知(78.1%)、2位北海道(69.3%)、3位東京・福岡(65.4%)
 残留率が低いのは、1位和歌山(11.3%)、2位福島(16.7%)、3位佐賀(16.8%)

短大残留率 残留率が高いのは、1位福岡(92.3%)、2位愛知(91.5%)、3位北海道(89.4%)
 残留率が低いのは、1位島根(33.6%)、2位奈良(34.9%)、3位和歌山(38.8%)

・大学残留率



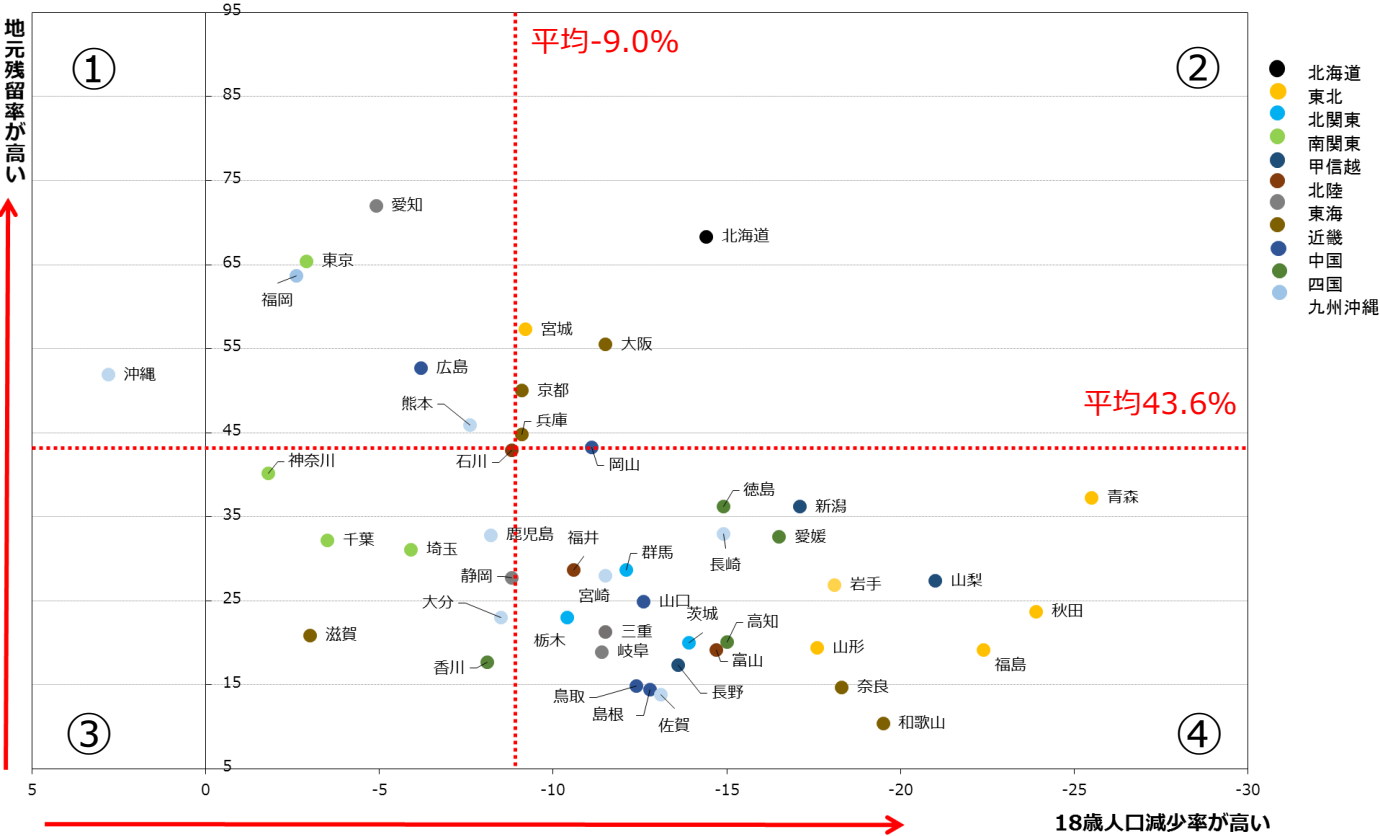
・短大残留率



18歳人口減少率×地元残留率(大学進学者：都道府県別：2015→2026年)

■「象限④」（18歳人口減少率が高く地元残留率が低い）に多くの県が集まる

- ・全国平均でガイドラインを引き4象限に分けると、以下の通りになる。
- 象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い
 - ：愛知、東京、福岡、広島、沖縄、熊本
 - 人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。
- 象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い
 - ：北海道、宮城、大阪、京都、兵庫
 - 18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。
- 象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い
 - ：石川、神奈川、鹿児島、千葉、埼玉、静岡、大分、滋賀、香川
 - 人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。
- 象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い
 - ：その他の県
 - 人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。



18歳人口減少率×地元残留率(短大進学者：都道府県別：2015→2026年)

■大学進学者と比較すると、地元に残留する傾向が強い

- ・短大の特性として比較的地元密着の傾向が強く、大学進学者と比較すると地元残留率の平均が25.4ポイント高い。
 - ・全国平均でガイドラインを引き4象限に分けると、以下の通りになる。
- 象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い
：福岡、愛知、石川、鹿児島、大分、沖縄、神奈川、東京、広島
→人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。
- 象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い
：北海道、岡山、宮城、兵庫、徳島、大阪、群馬、愛媛、長野、岐阜、福井、山梨、青森
→18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。
- 象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い
：香川、静岡、千葉、熊本、埼玉、滋賀
→人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。
- 象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い
：その他の府県
→人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。

